

# 阿賀野市の現状概要報告書 ＜経営環境の共有化＞

2014年12月

1. 市民意識調査(H26.11)
2. 全中学生アンケート(H26.11)
3. 近隣市との比較(強み・弱み)
4. 人口動態
5. 財政動向

# 1. 市民意識調査結果報告

～阿賀野市市民アンケート調査(平成26年11月実施)より～

調査方法: 郵送法  
配布数 : 3000通  
回答数 : 1615通  
回収率 : 53.8%

## 回答者属性

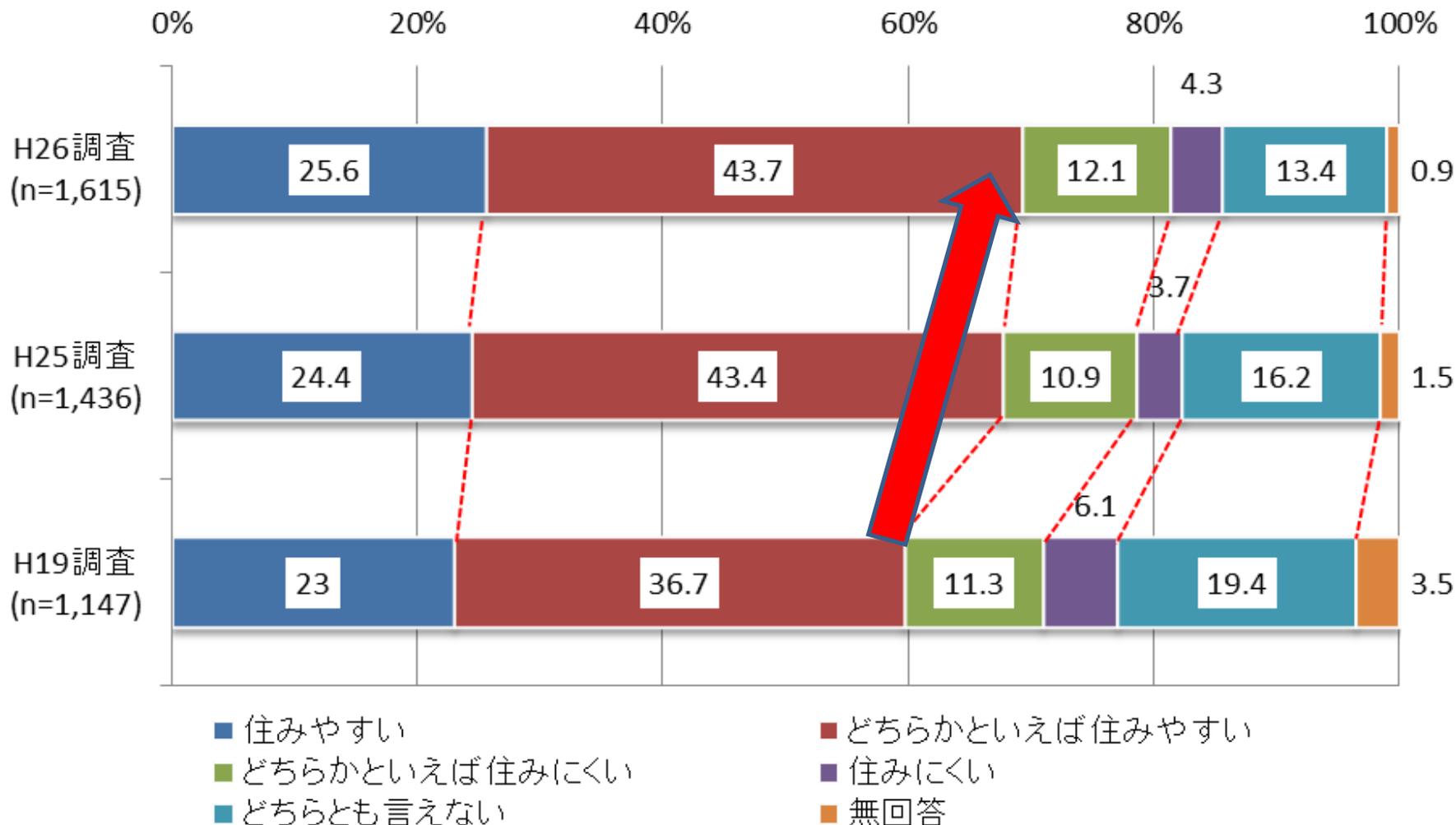
- ・年齢構成は、20～50歳代までは、実際の人口構成に近いが、60代の回答が約8%高く、70歳代が8%低くなっています。
- ・地区別構成は、ほぼ人口構成と同様になっています。
- ・居住年数では、10年以上居住の方が、9割以上を占めています。

配布数 (3,000)		有効 回答数 (回収数)	有効 回答率 (回収率)	H26.9月 人口比率
全体		1,615	53.8%	
性別	男	736	45.6%	
	女	859	53.2%	
	無回答	20	1.2%	
年齢別	20～29歳	140	8.7%	11.8%
	30～39歳	197	12.2%	13.8%
	40～49歳	228	14.1%	13.8%
	50～59歳	309	19.1%	16.2%
	60～69歳	440	27.2%	19.1%
	70歳以上	288	17.8%	25.4%
	無回答	13	0.8%	

配布数 (3,000)		有効 回答数 (回収数)	有効 回答率 (回収率)	H26.9月 人口比率
地区別	安田地区	346	21.4%	22.1%
	京ヶ瀬地区	274	17.0%	16.3%
	水原地区	704	43.6%	43.3%
	笹神地区	278	17.2%	18.3%
	無回答	13	0.8%	
居住年数	3年未満	38	2.4%	
	3年以上5年未満	25	1.5%	
	5年以上10年未満	35	2.2%	
	10年以上20年未満	149	9.2%	
	20年以上	563	34.9%	
	生まれてからずっと	790	48.9%	
	無回答	15	0.9%	

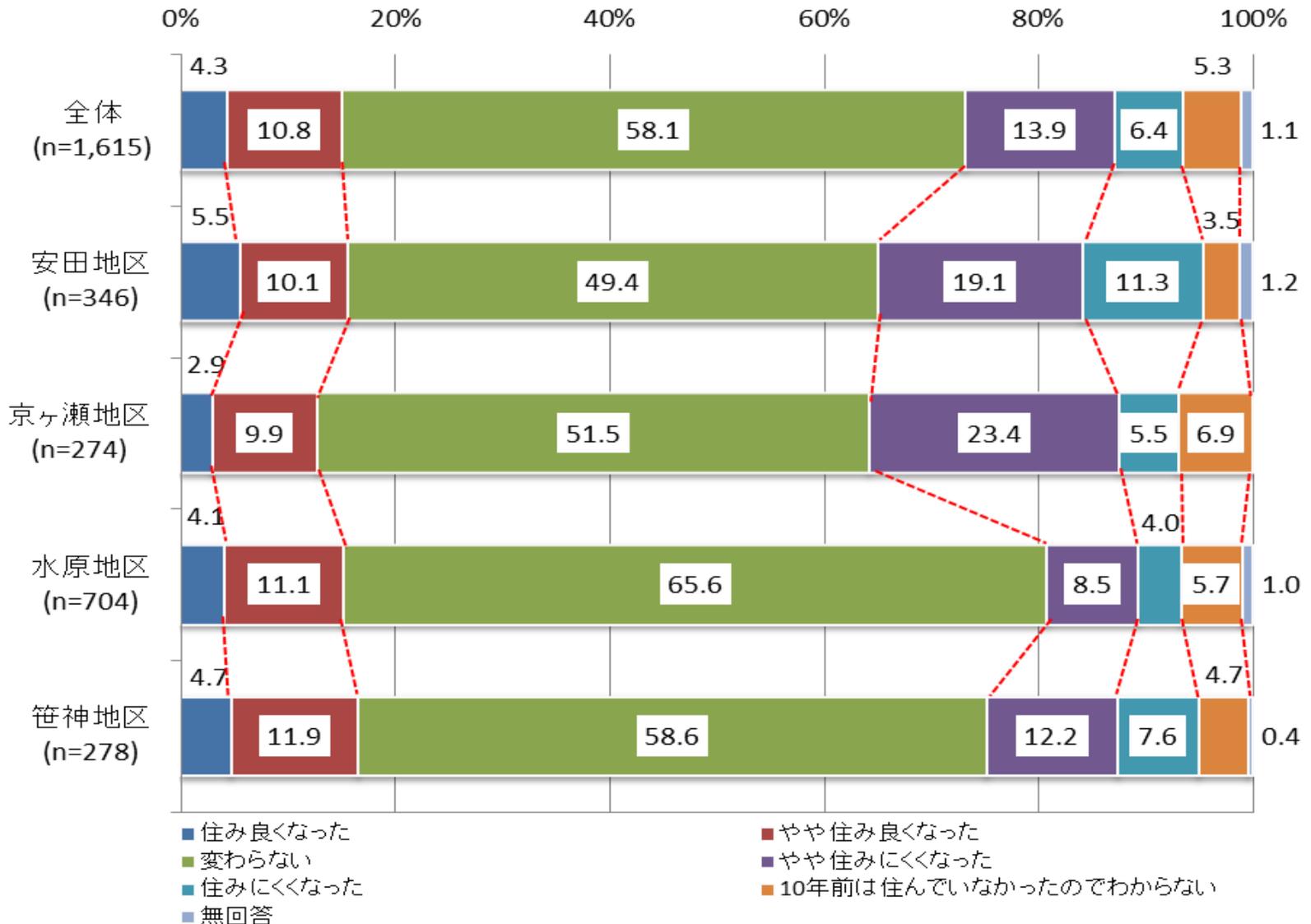
## 住み良さ

- ・「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が69.3%となり、約7割の方が住み良さを実感しています。
- ・「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」と16.4%が住みにくさを実感しています。
- ・H19調査との比較では、住みよさ(住みやすい+どちらかといえば住みやすい)は、約10%向上しています。
- ・前年度との比較では、「住みよさ」が、1.5%向上しています。



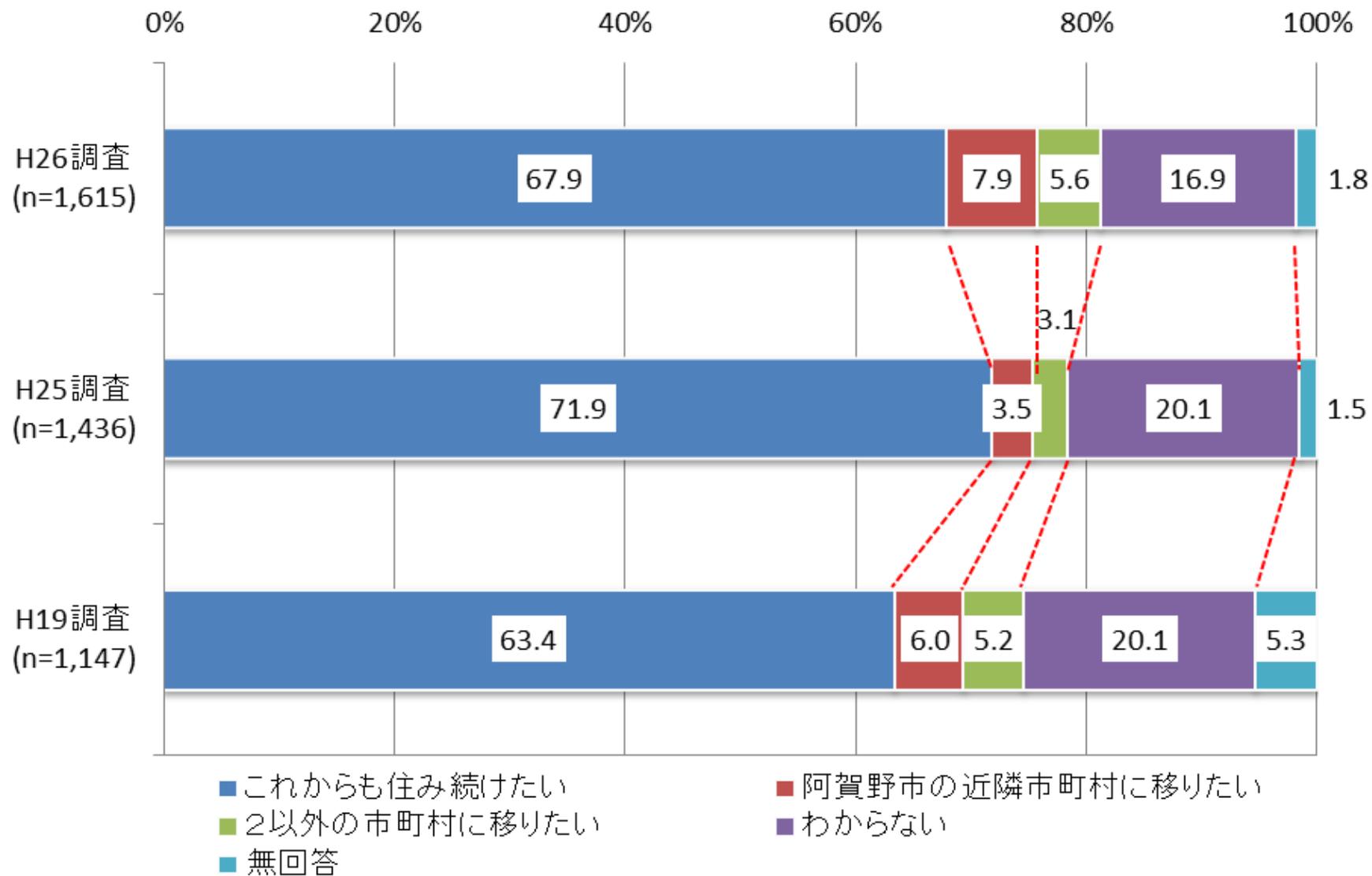
## 10年前との比較

- ・10年前より住み良くなったとの回答は、15.1%（「住み良くなった」+「やや住み良くなった」）となっています。
- ・10年前より住みにくくなったとの回答は、20.3%（「やや住みにくくなった」+「住みにくくなった」）となっています。
- ・地区では、京ヶ瀬、安田で、住みにくくなったとの比率が高くなっています。



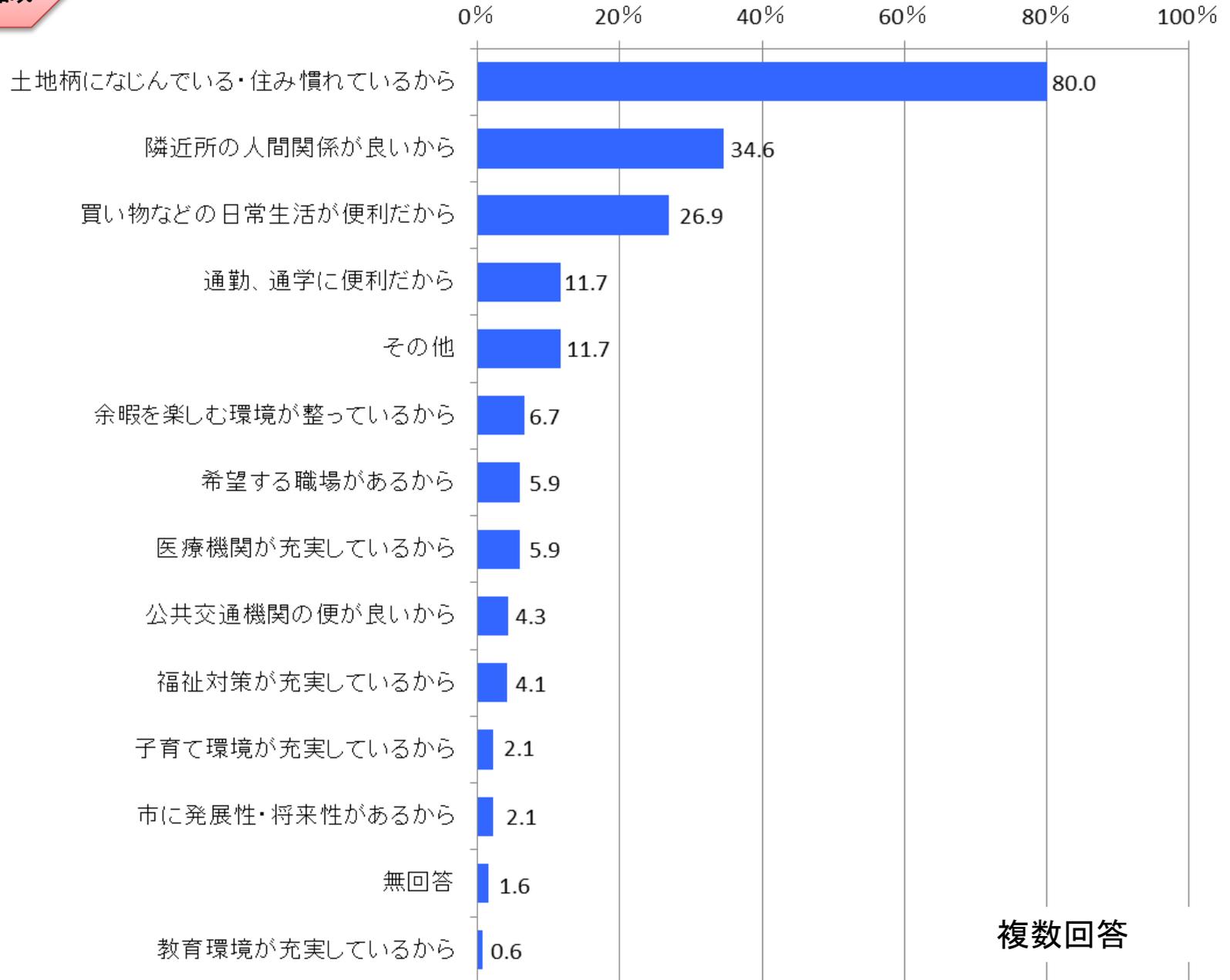
## 定住意識

- ・全体の67.9%が「これからも住み続けたい」と回答しています。  
→8年前との比較では、4.5%向上しています。  
→・前年度との比較では、4.0%低下しています。
- ・移住意向は、13.5%で、増加傾向にあります。



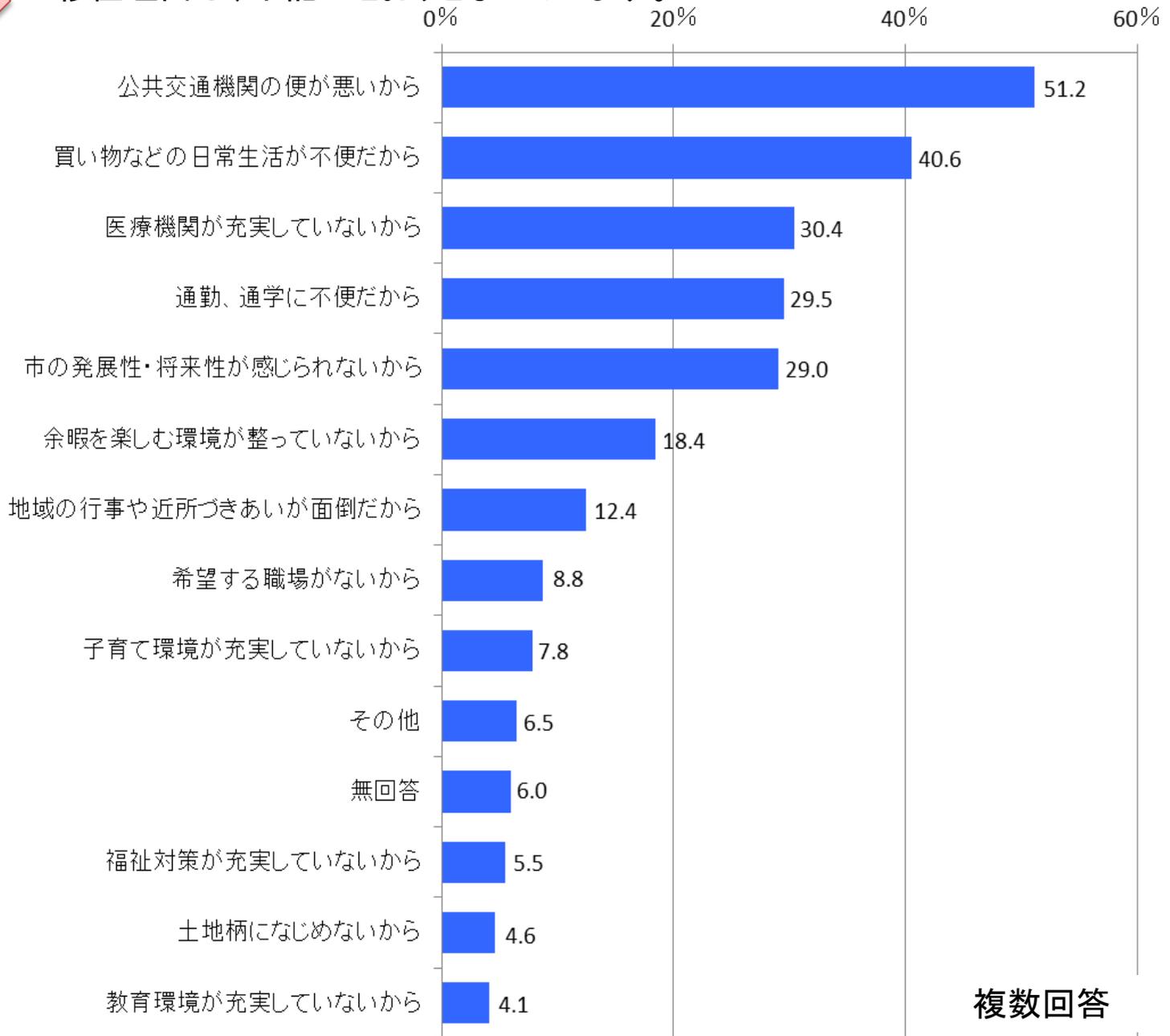
## 定住意識

定住理由は、下記の順となっています。



複数回答

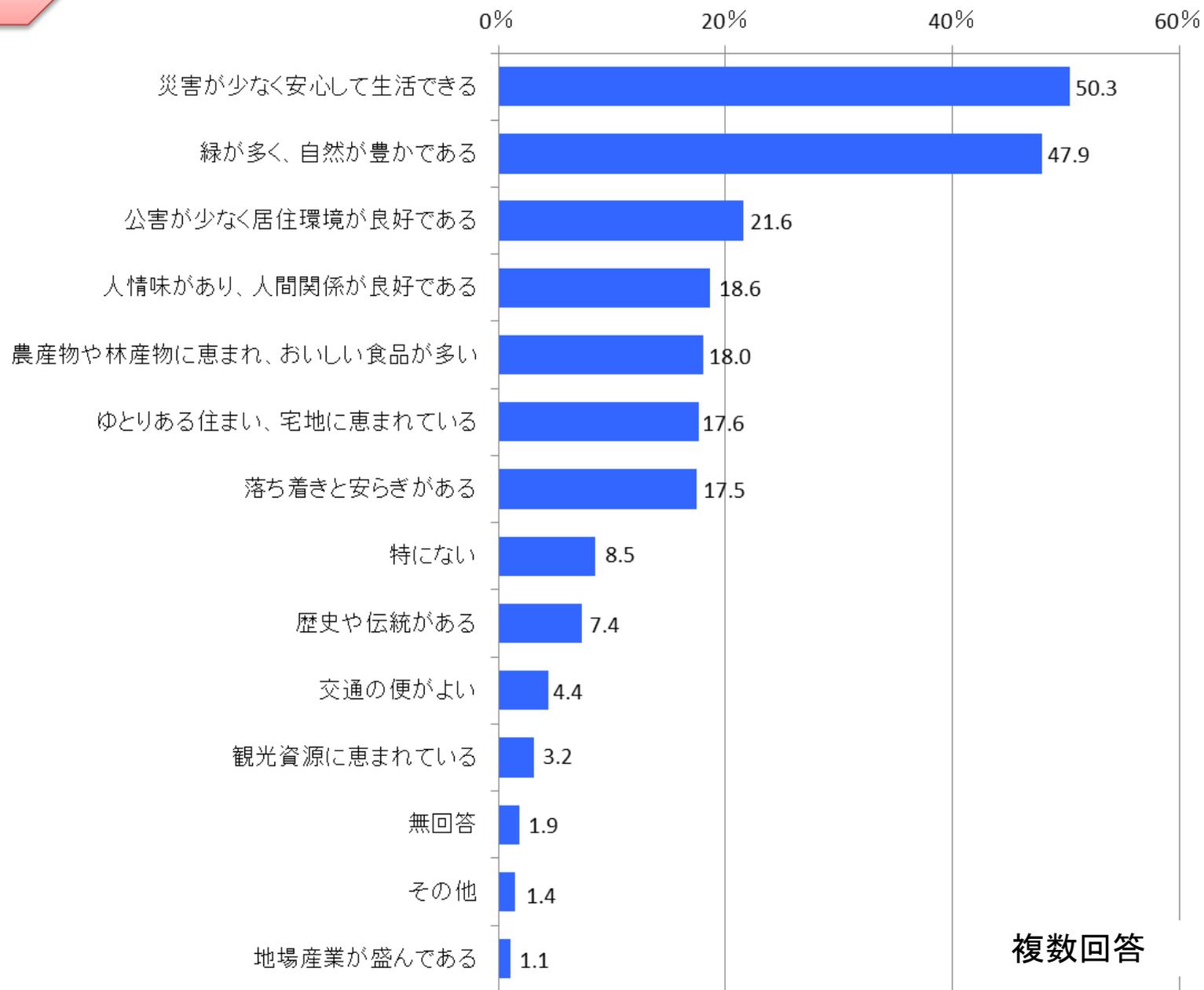
・移住理由は、下記のとおりとなっています。



複数回答

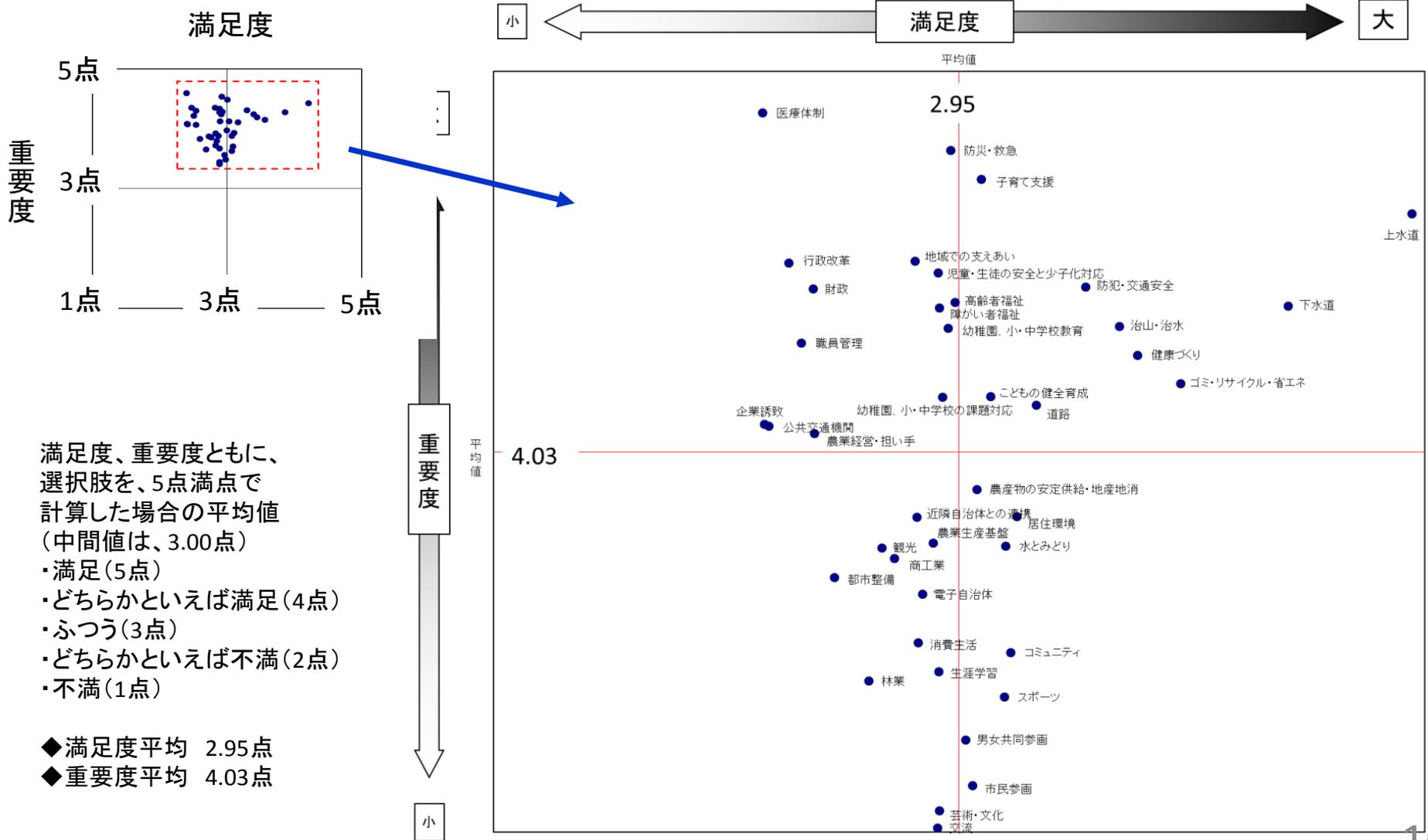
## 市の魅力

・「安心」、「自然が豊か」について、2人にひとりが魅力と感じています。



# 施策の 満足度・重要度

- ・41施策の満足度、重要度の位置づけがばらついていることが特徴。
- ・施策の満足度平均点は、2.95点(5点満点)となっています。
- ・施策満足度は、最高4.21点、最低2.40点で、1.81点のばらつきとなっています。
- ・施策重要度の平均点は、4.03点(5点満点)となっています。
- ・施策重要度は、最高4.59点、最低3.41点で、1.18点のばらつきとなっています。



## 施策の満足度・重要度

- ・41施策の満足度、重要度の上位5位、下位5位は、下記の表のとおり。
- ・「医療体制」は、満足度が低く、重要度が高くなっています。

### ◆満足度の上位及び下位5項目の推移

#### 上位5項目（満足度が高い施策）

	施策名	点数
1位	上水道	4.21 点
2位	下水道	3.87 点
3位	ゴミ・リサイクル・省エネ	3.57 点
4位	健康づくり	3.45 点
5位	治山・治水	3.40 点

施策満足度平均点 2.95点

#### 下位5項目（満足度が低い施策）

	施策名	点数
37位	職員管理	2.51 点
38位	行政改革	2.48 点
39位	公共交通機関	2.42 点
40位	企業誘致	2.41 点
41位	医療体制	2.40 点

### ◆重要度の上位及び下位5項目の推移

#### 上位5項目（重要度が高い施策）

	施策名	点数
1位	医療体制	4.59 点
2位	防災・救急	4.53 点
3位	子育て支援	4.48 点
4位	上水道	4.42 点
5位	地域での支えあい	4.35 点

施策重要度平均点 4.03点

#### 下位5項目（重要度が低い施策）

	施策名	点数
37位	スポーツ	3.62 点
38位	男女共同参画	3.55 点
39位	市民参画	3.48 点
40位	芸術・文化	3.43 点
41位	交流	3.41 点

## 施策の満足度

- ・41施策の満足度の順位は、下記のとおり
- ・「居住環境」「コミュニティ」の満足度が、前年調査より向上しています。

番号	項目名	満足度	H26 順位	H25 順位
30.	上水道	4.21	1	1
31.	下水道	3.87	2	2
17.	ゴミ・リサイクル・省エネ	3.57	3	3
5.	健康づくり	3.45	4	4
32.	治山・治水	3.40	5	5
15.	防犯・交通安全	3.30	6	6
28.	道路	3.17	7	7
26.	居住環境	3.11	8	17
33.	コミュニティ	3.09	9	12
27.	水とみどり	3.08	10	14
13.	スポーツ	3.08	11	10
11.	こどもの健全育成	3.04	12	11
3.	子育て支援	3.01	13	9
20.	農産物の安定供給・地産地消	3.00	14	8
36.	市民参画	2.99	15	13
35.	男女共同参画	2.97	16	18
1.	高齢者福祉	2.94	17	16
14.	防災・救急	2.93	18	33
8.	幼稚園、小・中学校教育	2.92	19	15
9.	幼稚園、小・中学校の課題対応	2.90	20	19

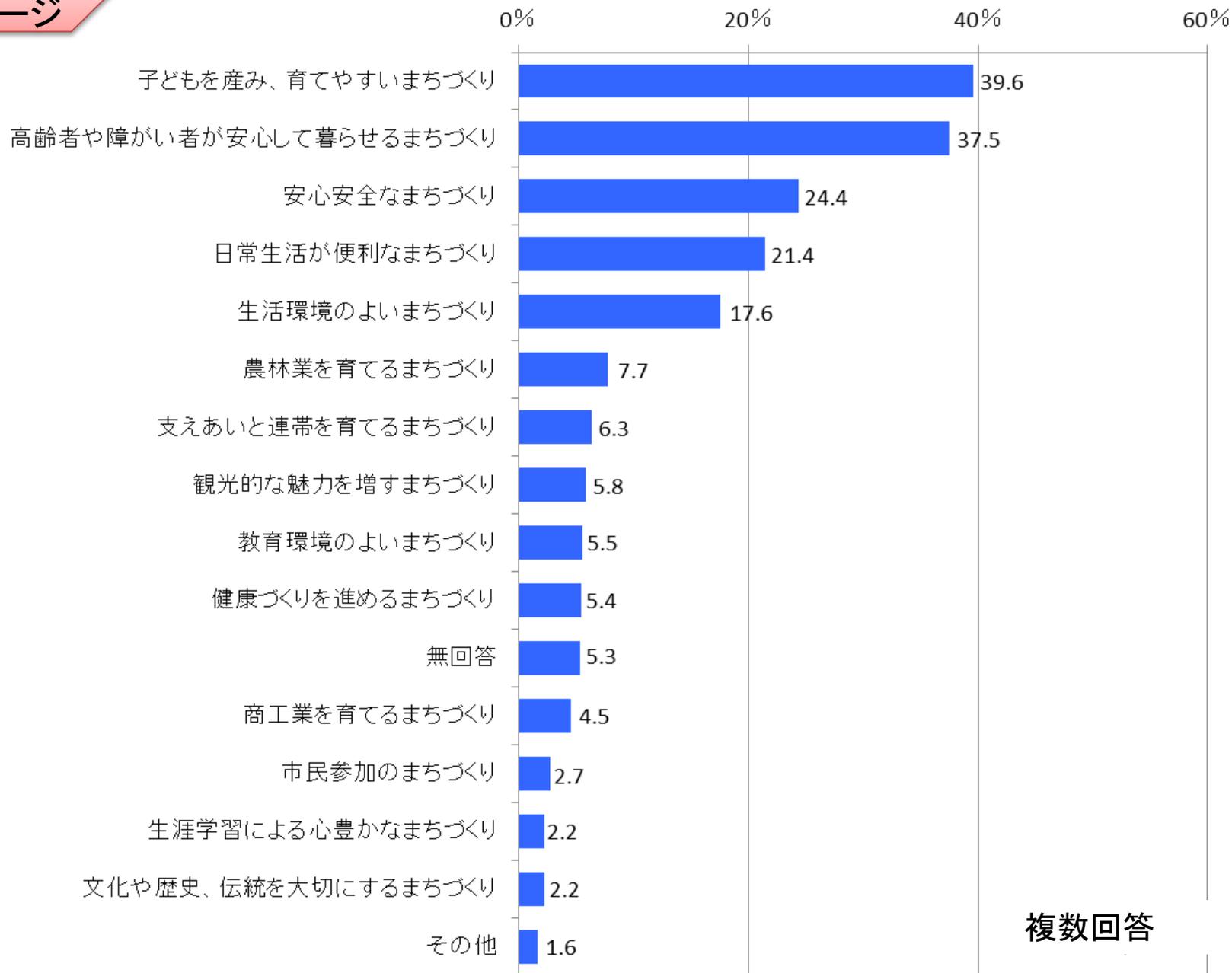
番号	項目名	満足度	H26 順位	H25 順位
12.	芸術・文化	2.90	21	20
2.	障がい者福祉	2.89	22	24
10.	生涯学習	2.89	23	23
7.	児童・生徒の安全と少子化対応	2.89	24	30
34.	交流	2.89	25	27
19.	農業生産基盤	2.88	26	22
39.	電子自治体	2.85	27	21
16.	消費生活	2.84	28	25
41.	近隣自治体との連携	2.83	29	28
4.	地域での支えあい	2.83	30	29
22.	商工業	2.77	31	31
23.	観光	2.74	32	26
21.	林業	2.70	33	32
25.	都市整備	2.60	34	39
18.	農業経営・担い手	2.55	35	34
40.	財政	2.54	36	36
38.	職員管理	2.51	37	35
37.	行政改革	2.48	38	38
29.	公共交通機関	2.42	39	37
24.	企業誘致	2.41	40	40
6.	医療体制	2.40	41	41

## 施策の重要度

- ・41施策の重要度の順位は、下記のとおり
- ・「医療体制」「地域での支えあい」、前年調査より大きく向上しています。

番号	項目名	重要度	H26 順位	H25 順位	番号	項目名	重要度	H26 順位	H25 順位
6.	医療体制	4.59	1	26	24.	企業誘致	4.08	21	27
14.	防災・救急	4.53	2	8	29.	公共交通機関	4.07	22	25
3.	子育て支援	4.48	3	3	18.	農業経営・担い手	4.06	23	20
30.	上水道	4.42	4	1	20.	農産物の安定供給・地産地消	3.97	24	16
4.	地域での支えあい	4.35	5	18	26.	居住環境	3.92	25	24
37.	行政改革	4.34	6	10	41.	近隣自治体との連携	3.92	26	22
7.	児童・生徒の安全と少子化対応	4.33	7	14	19.	農業生産基盤	3.88	27	29
15.	防犯・交通安全	4.30	8	4	27.	水とみどり	3.87	28	30
40.	財政	4.30	9	7	23.	観光	3.87	29	32
1.	高齢者福祉	4.28	10	15	22.	商工業	3.85	30	23
31.	下水道	4.27	11	2	25.	都市整備	3.82	31	40
2.	障がい者福祉	4.27	12	12	39.	電子自治体	3.79	32	28
32.	治山・治水	4.24	13	5	16.	消費生活	3.71	33	36
8.	幼稚園、小・中学校教育	4.23	14	13	33.	コミュニティ	3.70	34	31
38.	職員管理	4.21	15	19	10.	生涯学習	3.67	35	35
5.	健康づくり	4.19	16	9	21.	林業	3.65	36	33
17.	ゴミ・リサイクル・省エネ	4.14	17	6	13.	スポーツ	3.62	37	34
11.	こどもの健全育成	4.12	18	17	35.	男女共同参画	3.55	38	37
9.	幼稚園、小・中学校の課題対応	4.12	19	11	36.	市民参画	3.48	39	38
28.	道路	4.11	20	21	12.	芸術・文化	3.43	40	39
					34.	交流	3.41	41	41

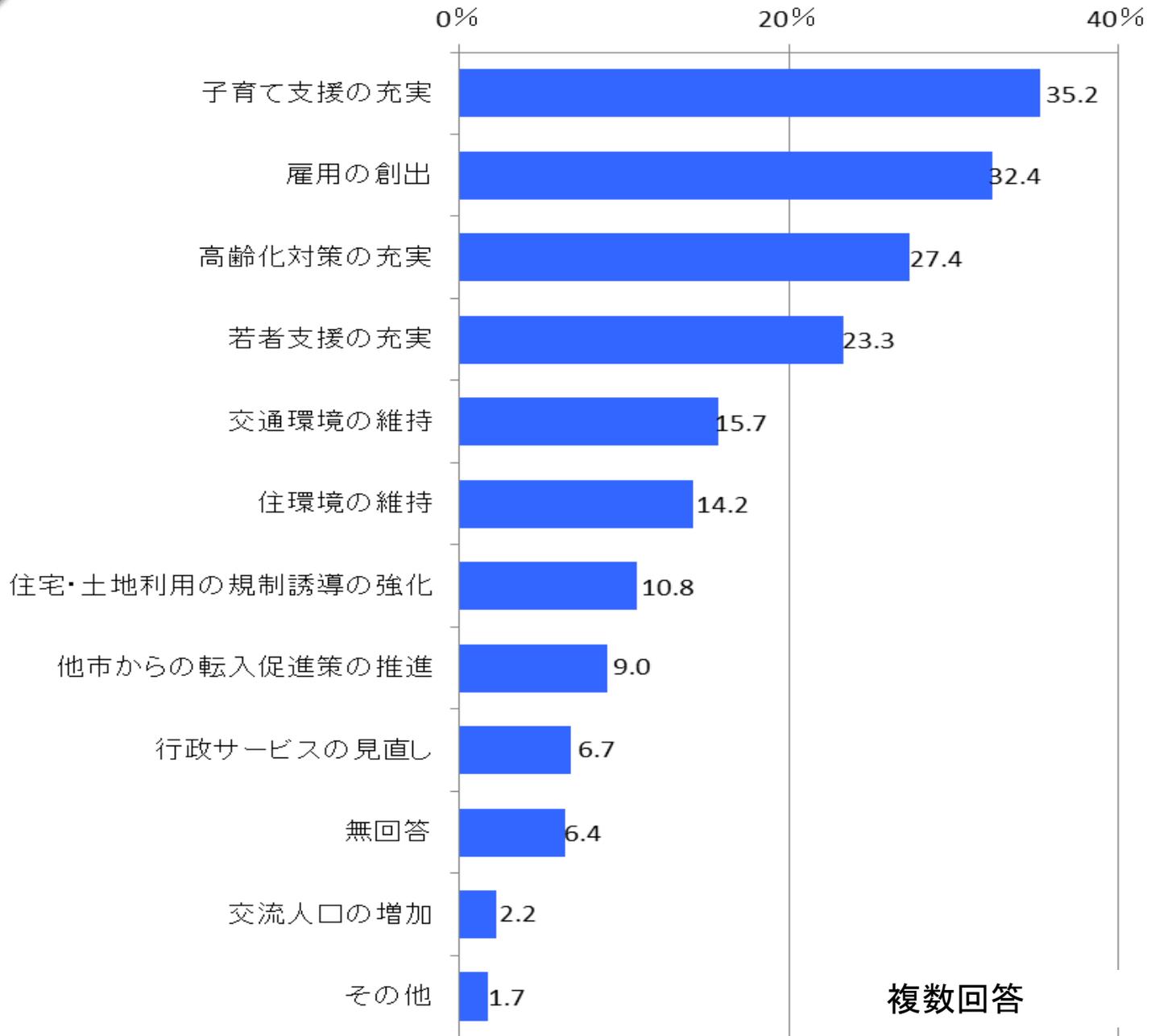
・これからの阿賀野市のまちづくりのイメージは下記のとおり



複数回答

人口減少  
への対応

人口減少社会への阿賀野市の対応として取り組むべきことの回答は下記のとおり



複数回答



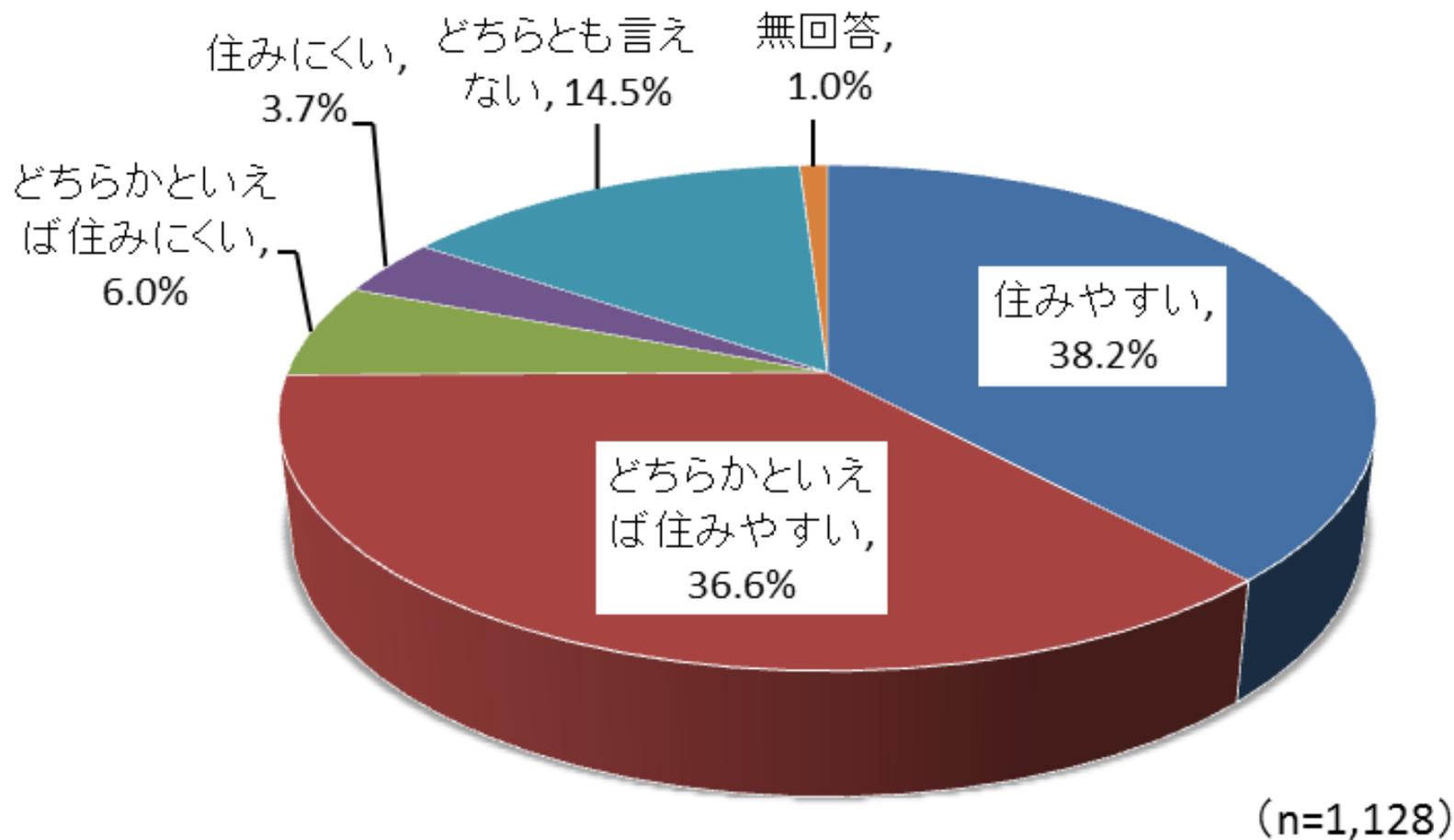
# 2. 全中学生アンケート結果報告

～阿賀野市のまちづくりについて(平成26年11月実施)より～

調査対象:全中学校1～3年  
調査方法:学校で配布・回収  
回答数 :1128通

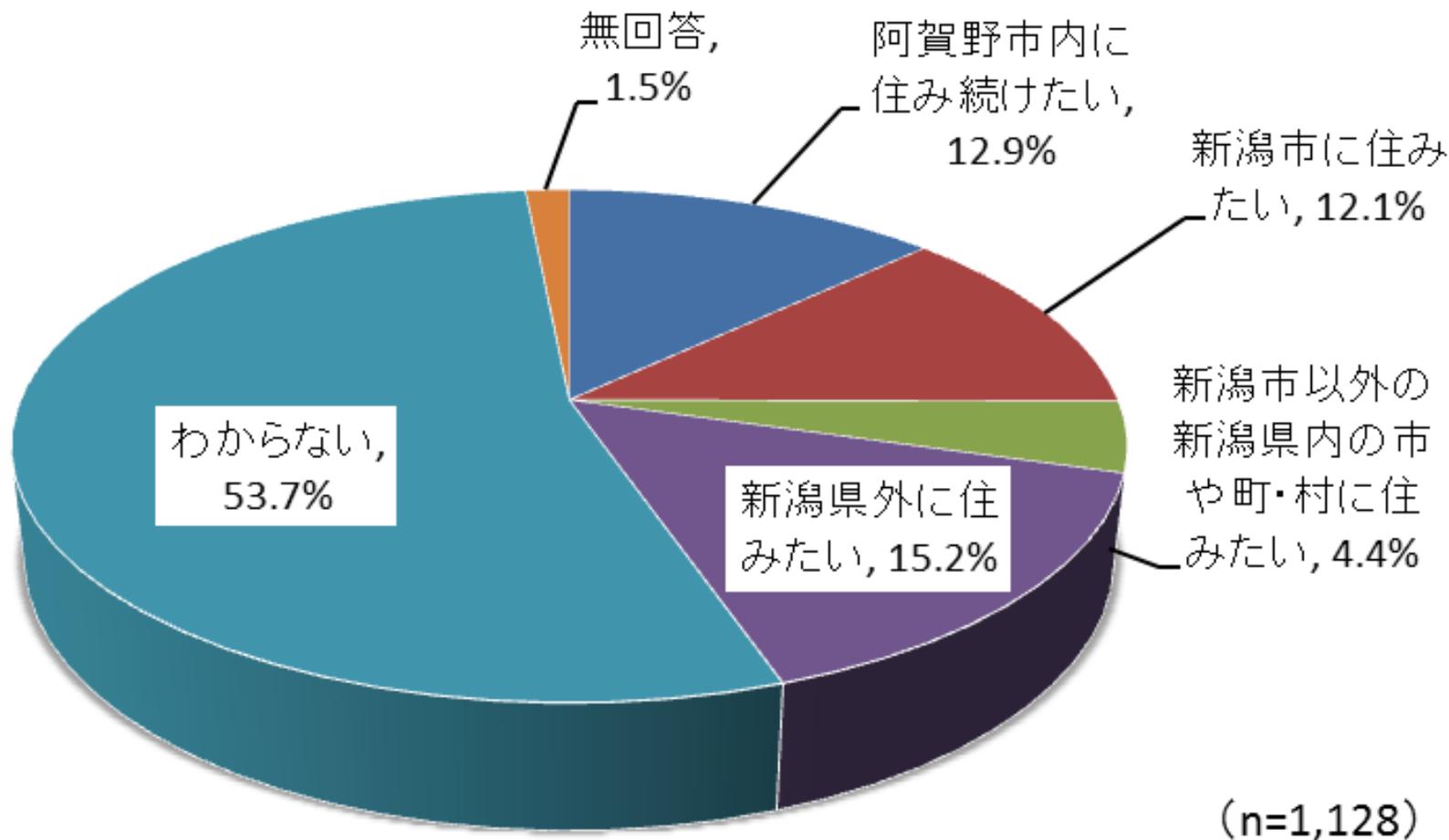
## 住み良さ

- ・「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の合計が74.8%となっています。  
(市民意識調査の回答は、69.3%であり、中学生の住み良さは、5.5%高くなっています)
- ・中学校間で、10%以上の差はありません。



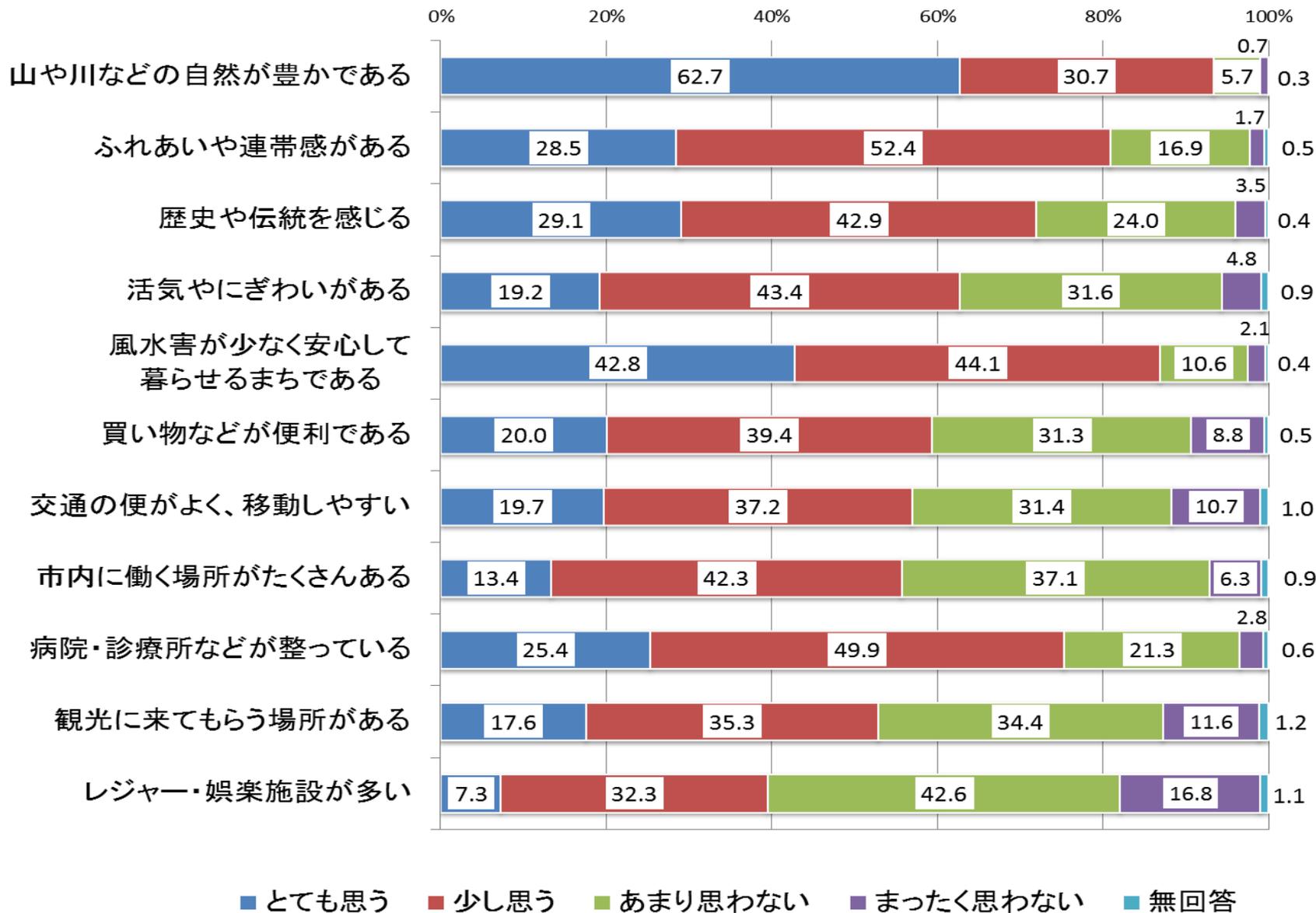
大人に  
なったとき  
の  
定住意識

- ・「わからない」が、53.7%となっています。
- ・「阿賀野市内に住み続けたい」と考える中学生は、12.9%にとどまっています。
- ・「阿賀野市以外に住みたい」と考える中学生は、31.7%で、約3割が市を離れる意向を持っています(中学3年生では、4割近くに達する)。  
    中学3年生・・・37.3%    中学2年生・・・27.5%    中学1年生・・・30.8%
- ・・中学校間で、10%以上の差はありません。



## 阿賀野市の評価

- ・高評価は、「自然が豊か」「安心して暮らせる」と市民意識調査と同様となっています。
- ・低評価は、「レジャー・娯楽施設」「観光」「働く場所」「交通」「買い物」となっています。



# 3. 近隣市との比較・強み

～10分野の社会指標で、近隣市比較による強み・弱みの把握～

# 調査のみかた

## 1 調査目的

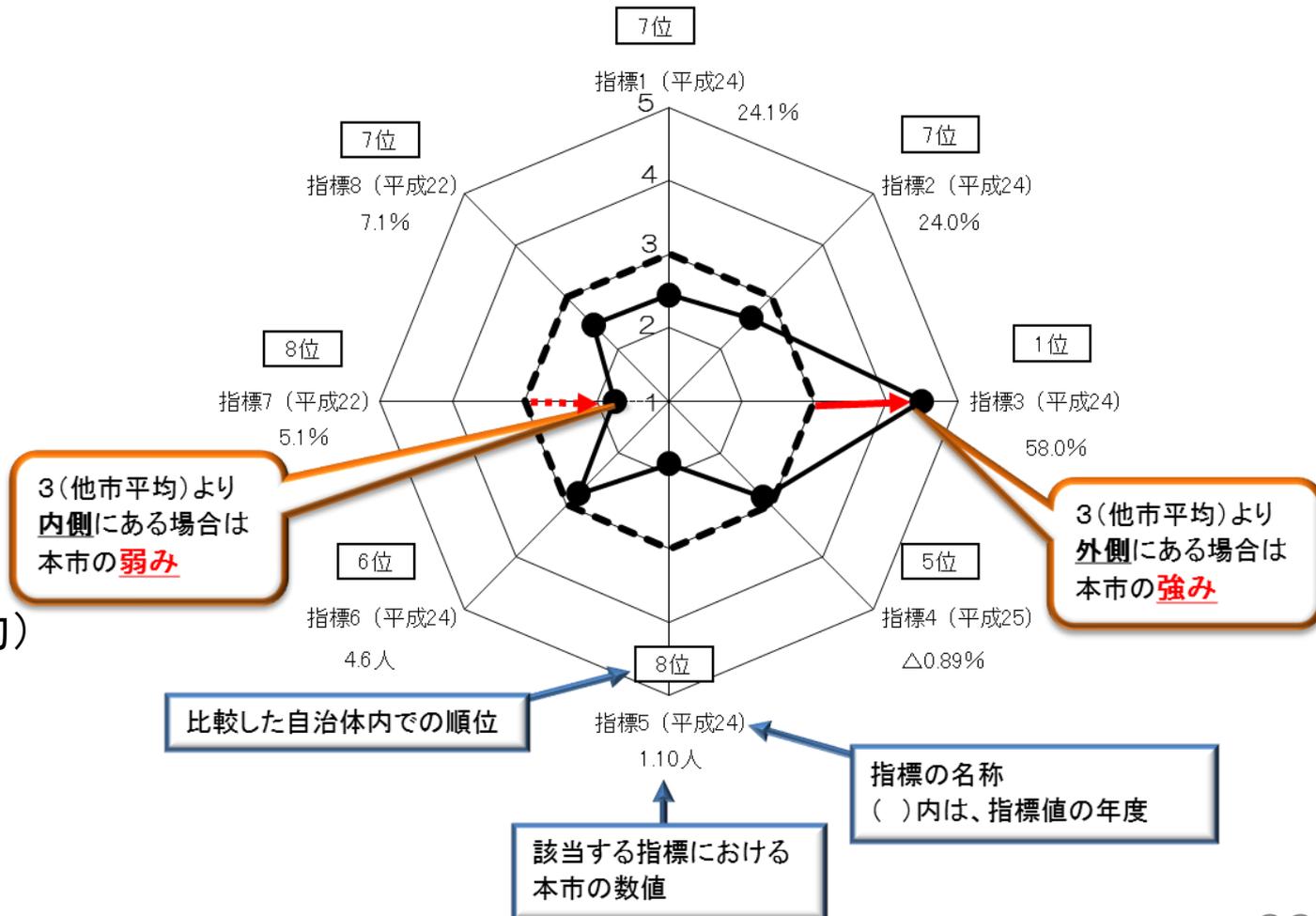
平成28年度からの「阿賀野市総合計画」の策定を進めるにあたり、新潟県内の近隣周辺市と比較し、本市がどのような水準にあるのかを各種統計データ(社会指標)から明らかにするものです。

## 2 比較対象都市

■新潟市、新発田市、  
村上市、五泉市、  
胎内市、聖籠町、  
阿賀町の7自治体

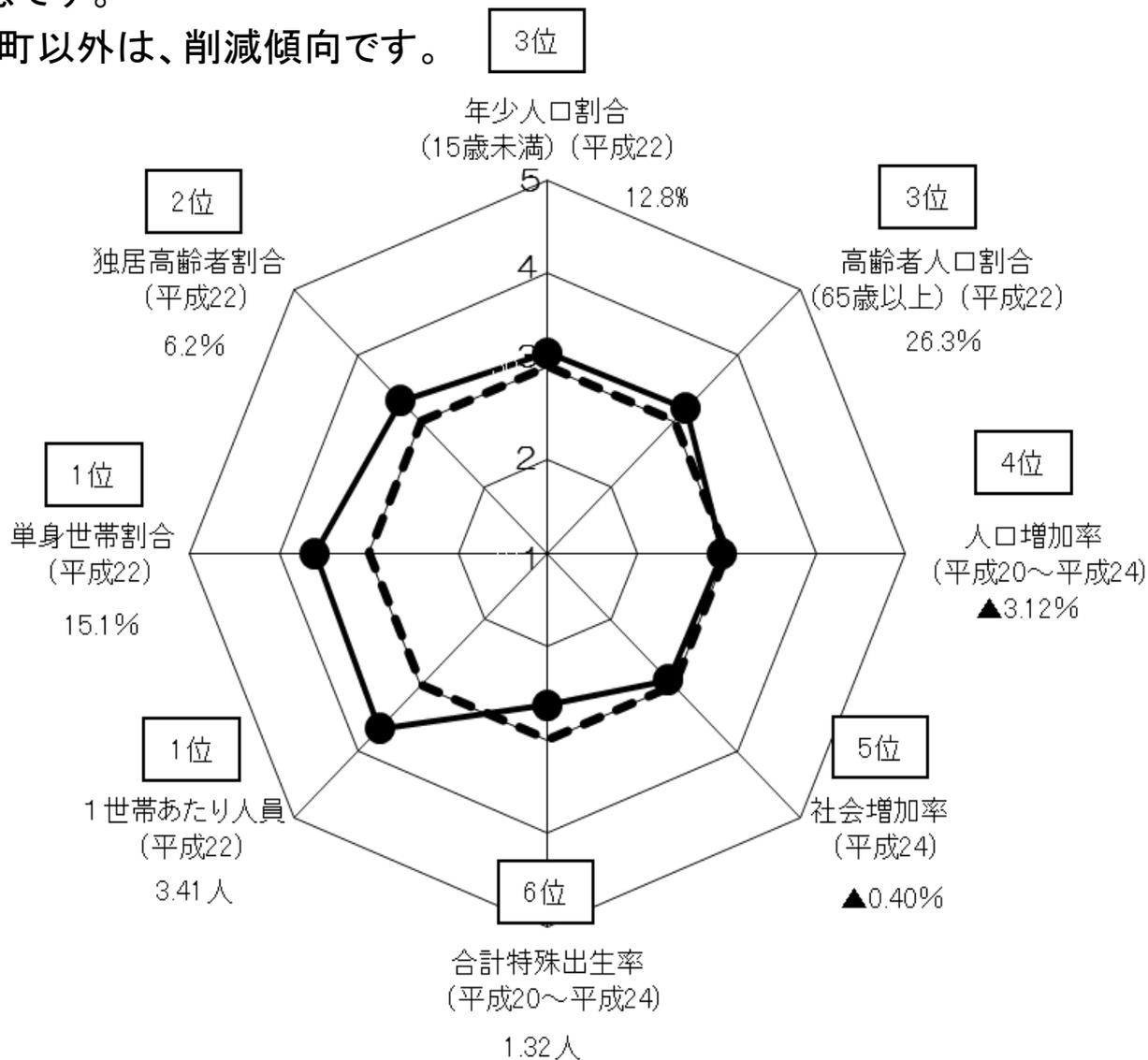
## 3. レーダーチャート 偏差値化して表示

- 5・・・偏差値90
- 4・・・偏差値70
- 3・・・偏差値50(平均)
- 2・・・偏差値30
- 1・・・偏差値20



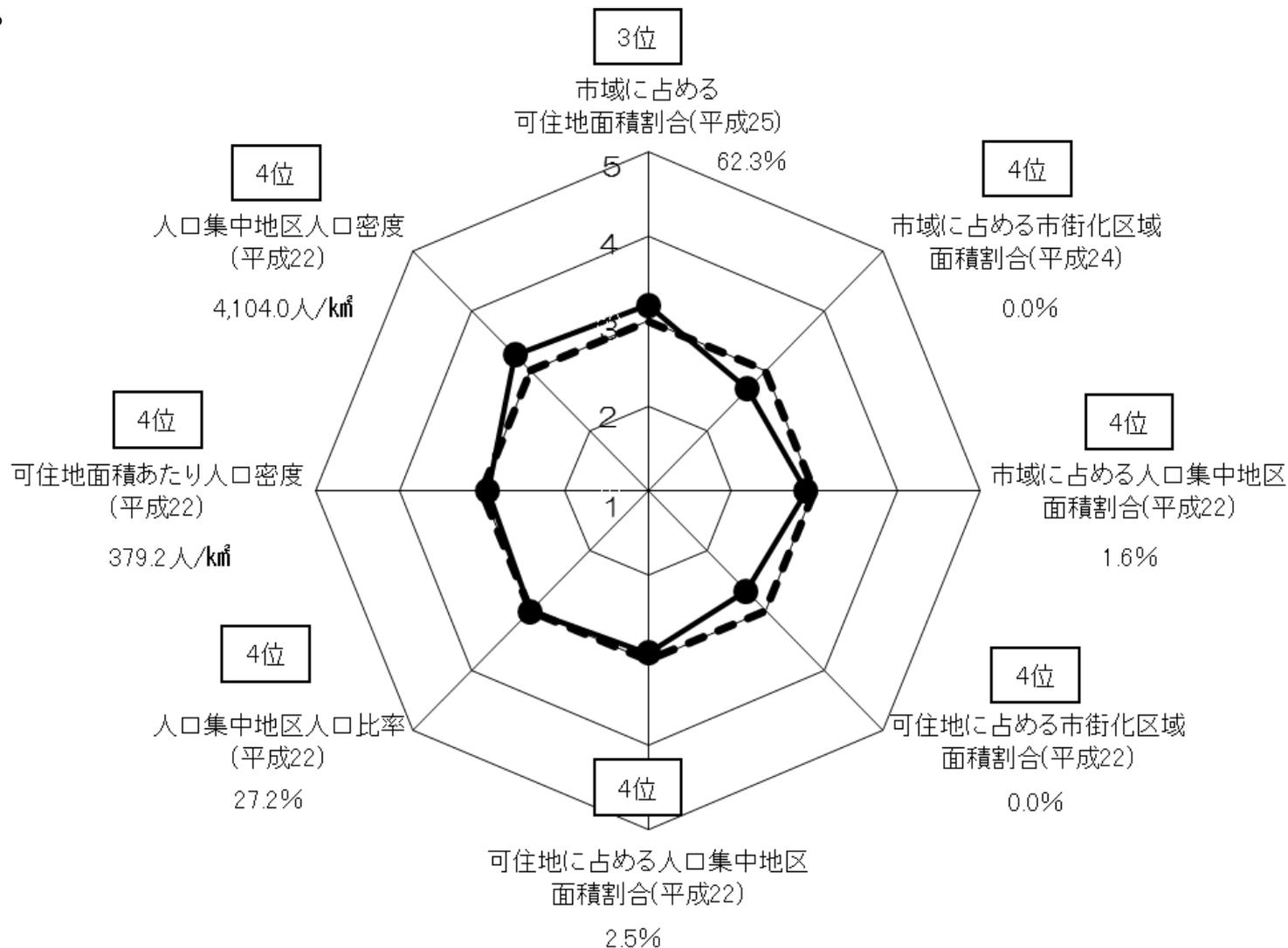
# 人口・世帯

- 単身世帯が少なく、1世帯あたり人員が多くなっています。
- 出生率がやや低い状態です。
- 人口は、新潟市と聖籠町以外は、削減傾向です。



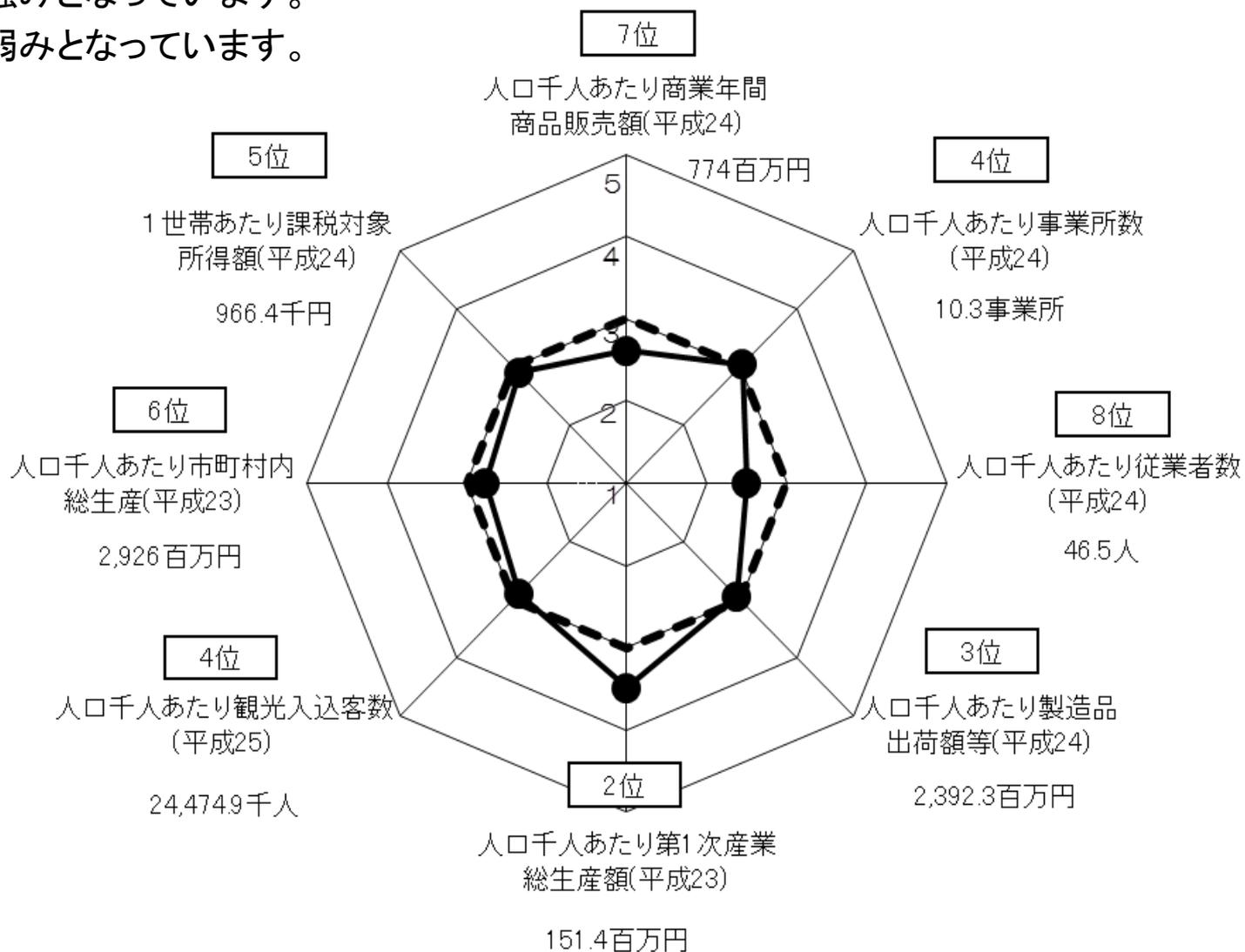
# 都市形成

- ほぼ他市と同じ状況ですが、市街化区域形成が若干低い傾向にあります。
- 人口集中地区人口密度は、新潟市が圧倒的に高く、それ以外では、新発田市、聖籠町が高くなっています。



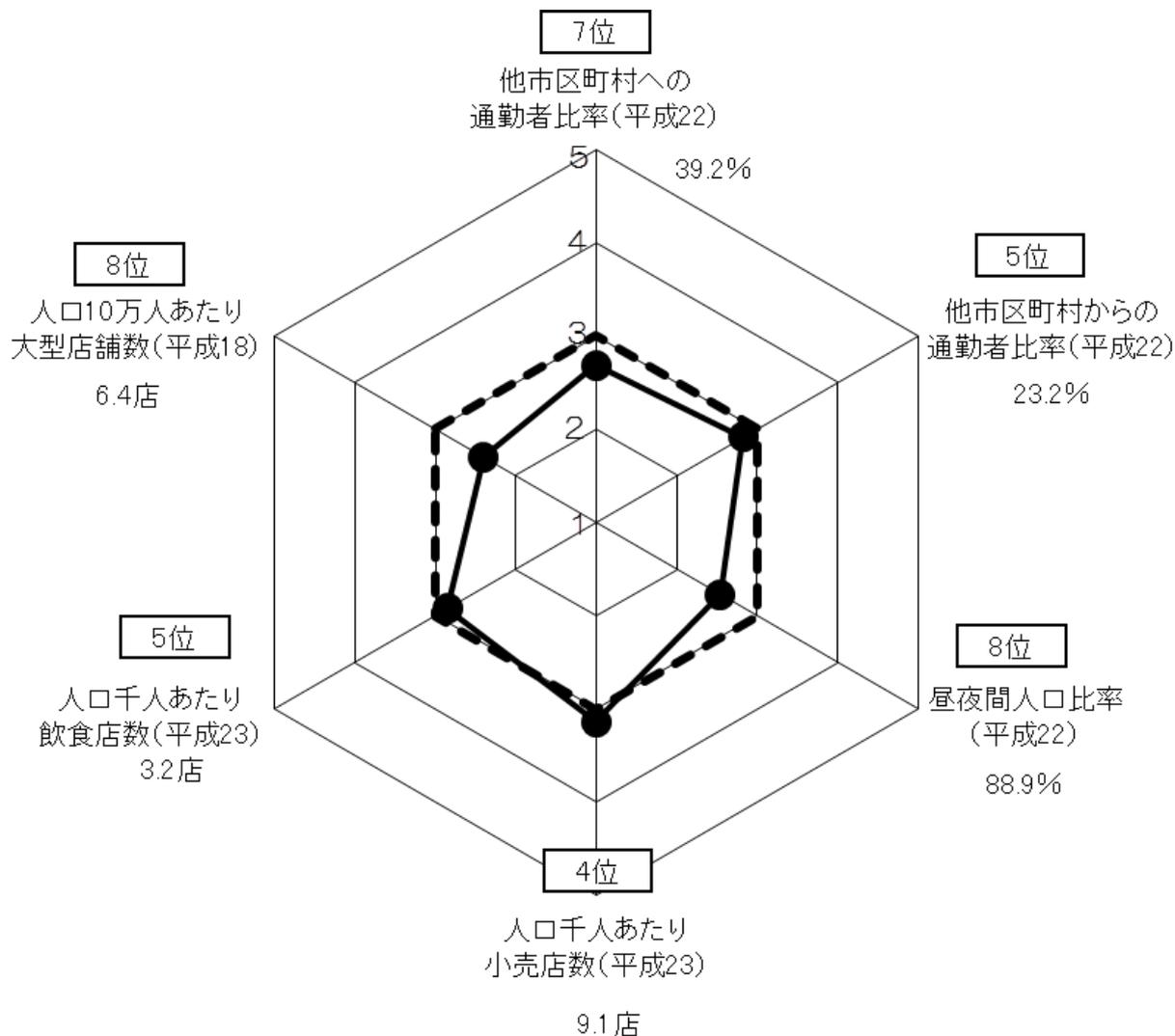
# 経済基盤

- 市民で働いている方が少なく、最下位となっています(1世帯あたり人員、家族構成の影響と推察)。
- 農業が強みとなっています。
- 商業が弱みとなっています。

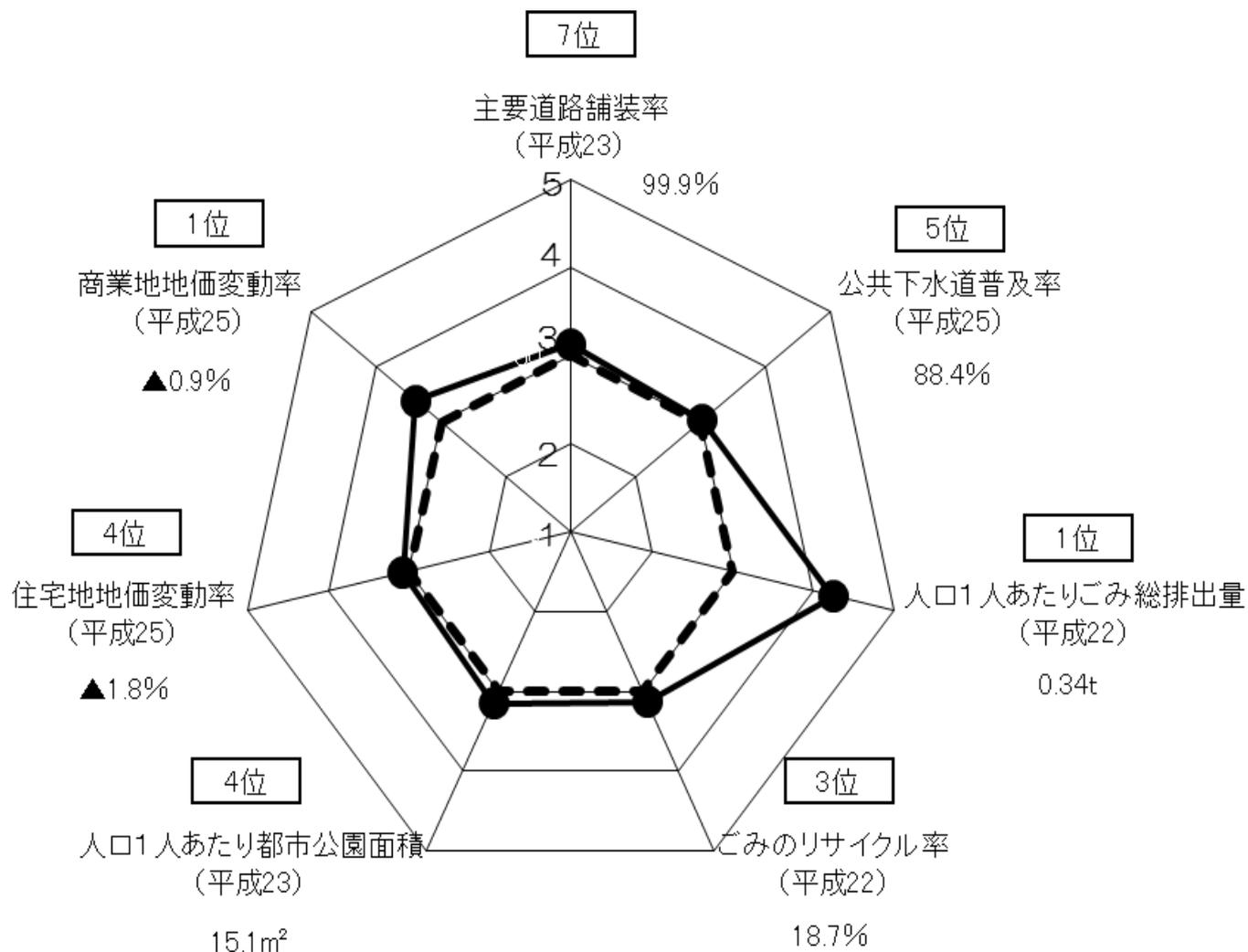


# にぎわい・交流

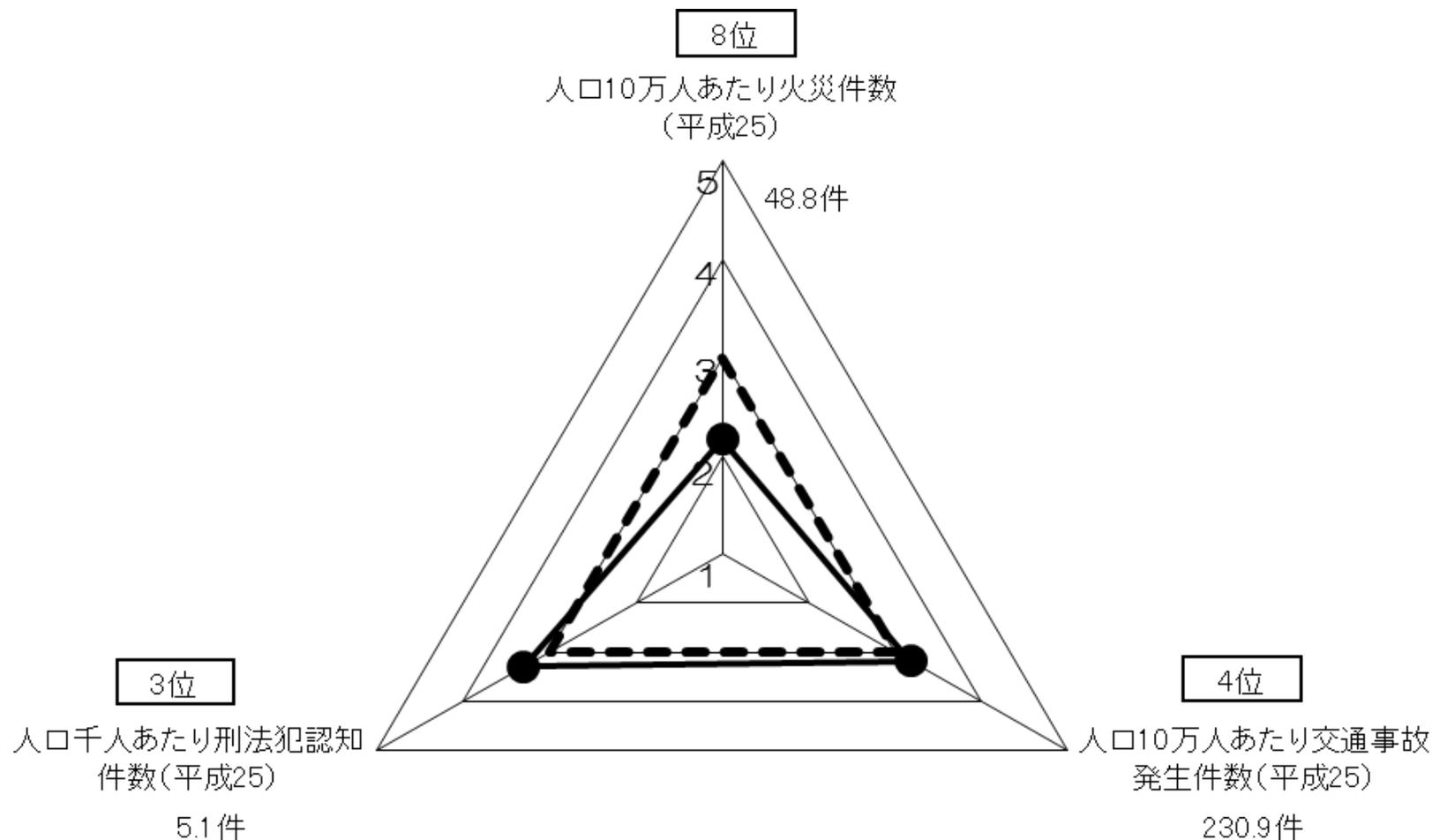
- 大型店舗は、新潟市と村上市が同程度であり、胎内市、新発田市も多く練っており、本市は最下位。
- 昼夜間人口比率は、本市のみ80%台となっており、昼間のにぎわいが少ないことが弱みです。  
(昼間人口が多いのは、聖籠町129.2%、新潟市101.8%)



•ひとりあたりのごみ排出量が他市より低くなっています。

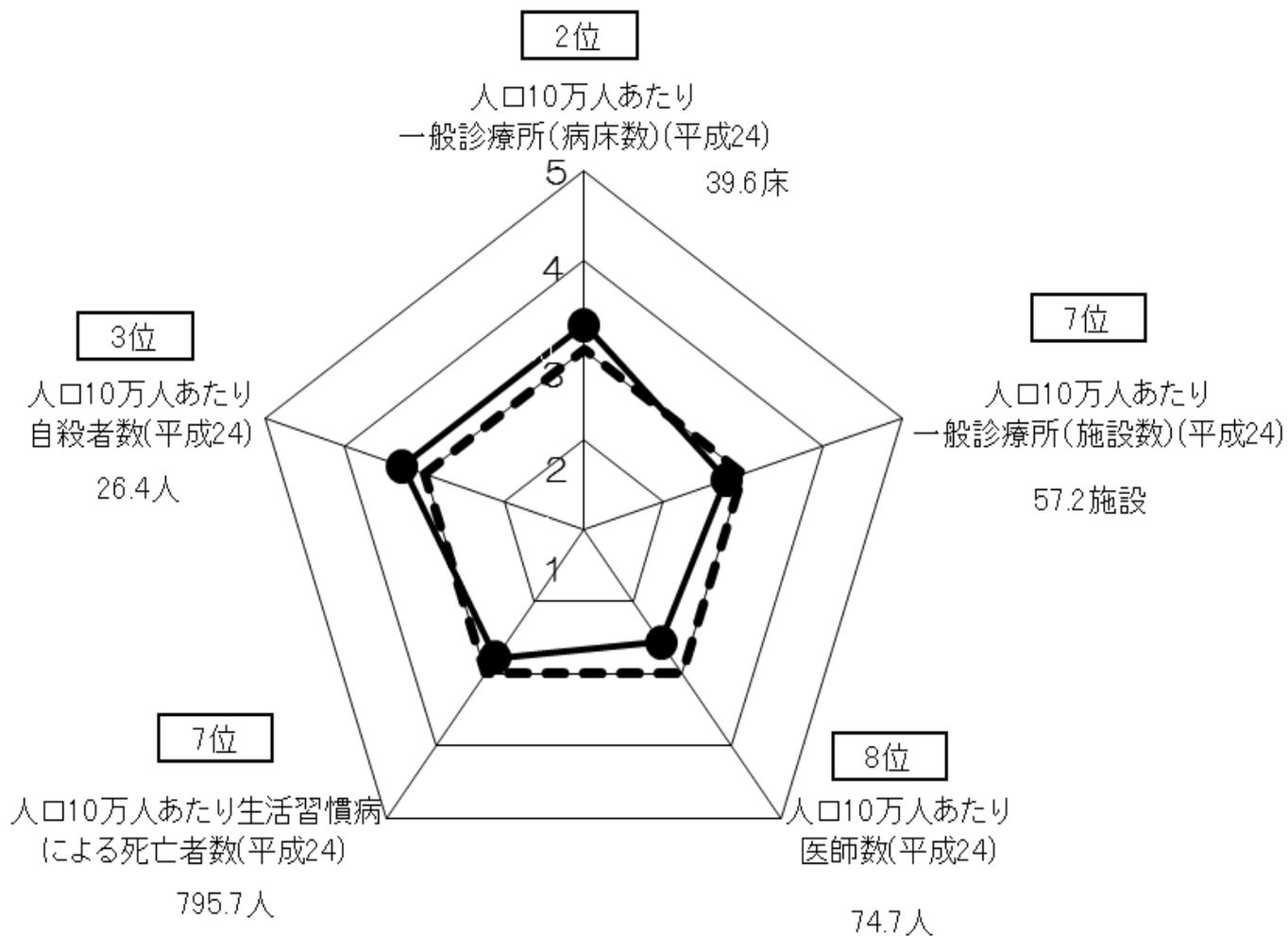


- 「火災」が他市より多くなっています。



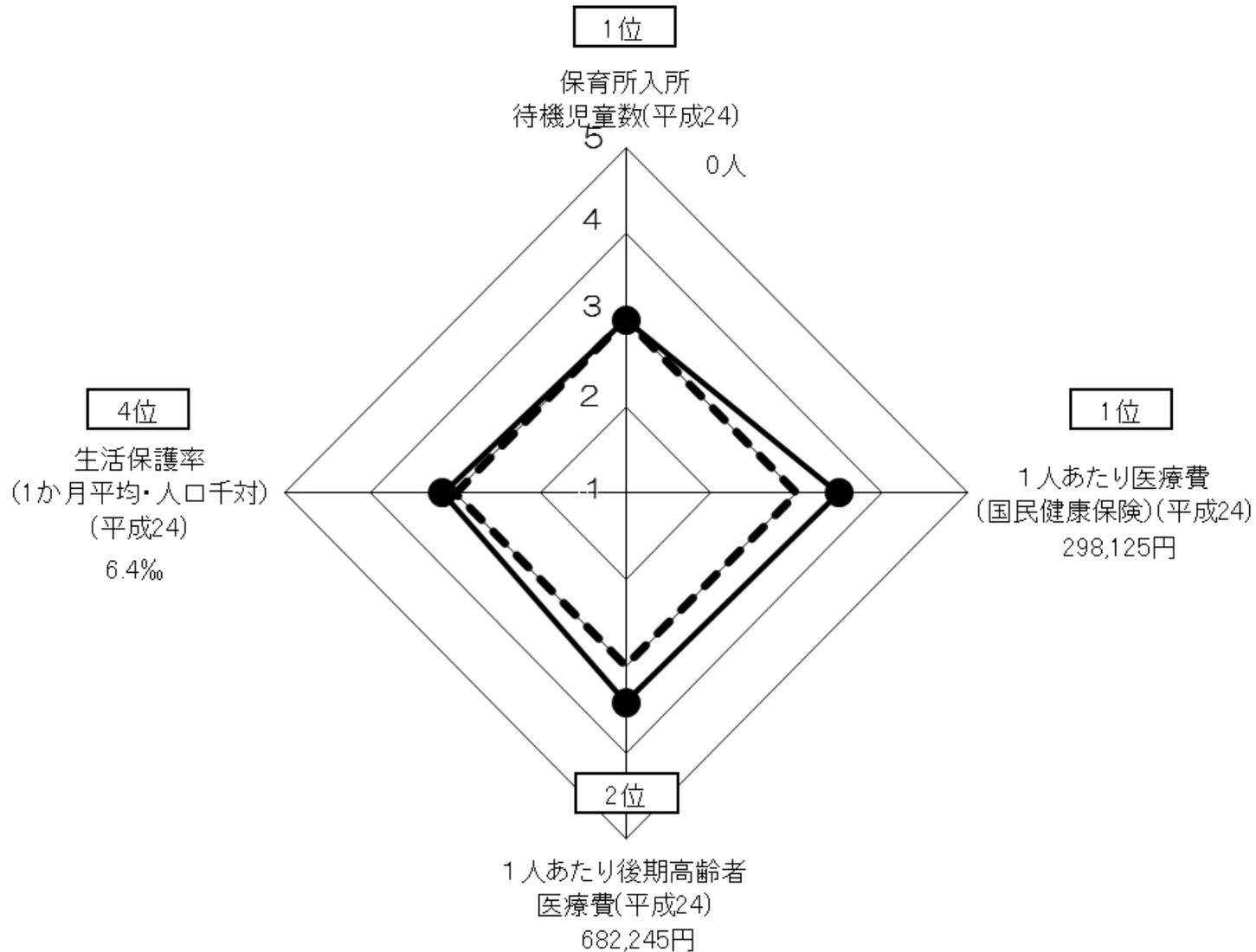
# 健康・医療

- 「10万人あたり医師数」が、他市より低い状況で、8自治体中最下位です。  
(新潟市281.7人 新発田市200.5人 村上市143.9人 …… 五泉市80.7人 阿賀野市74.7人)

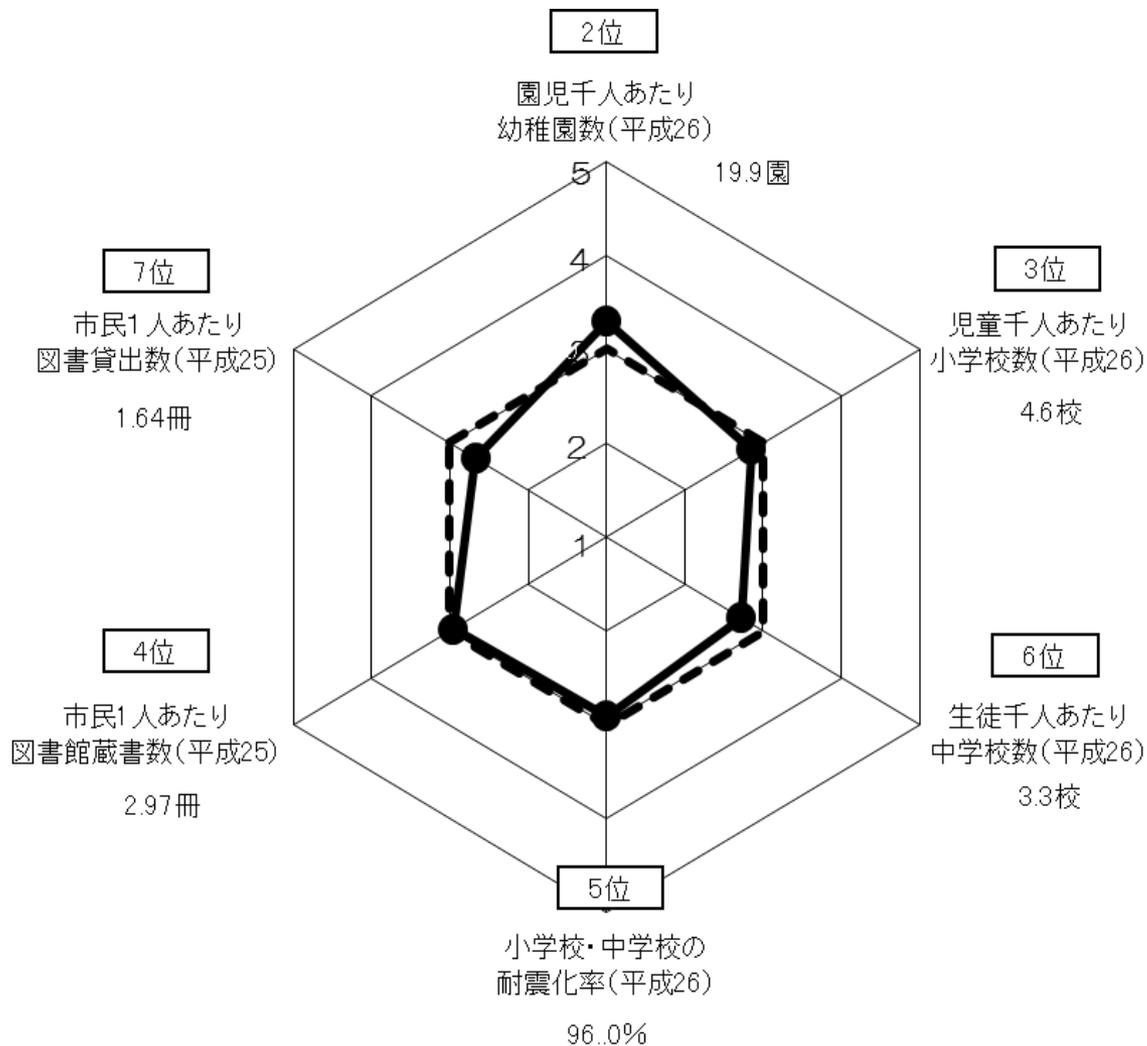


# 福祉・社会保障

- ・「1人あたり医療費」の支出が、近隣8自治体で、最も少ない状態です。
- ・「保育所入所待機児童数」は、近隣8自治体すべてが0人となっています。

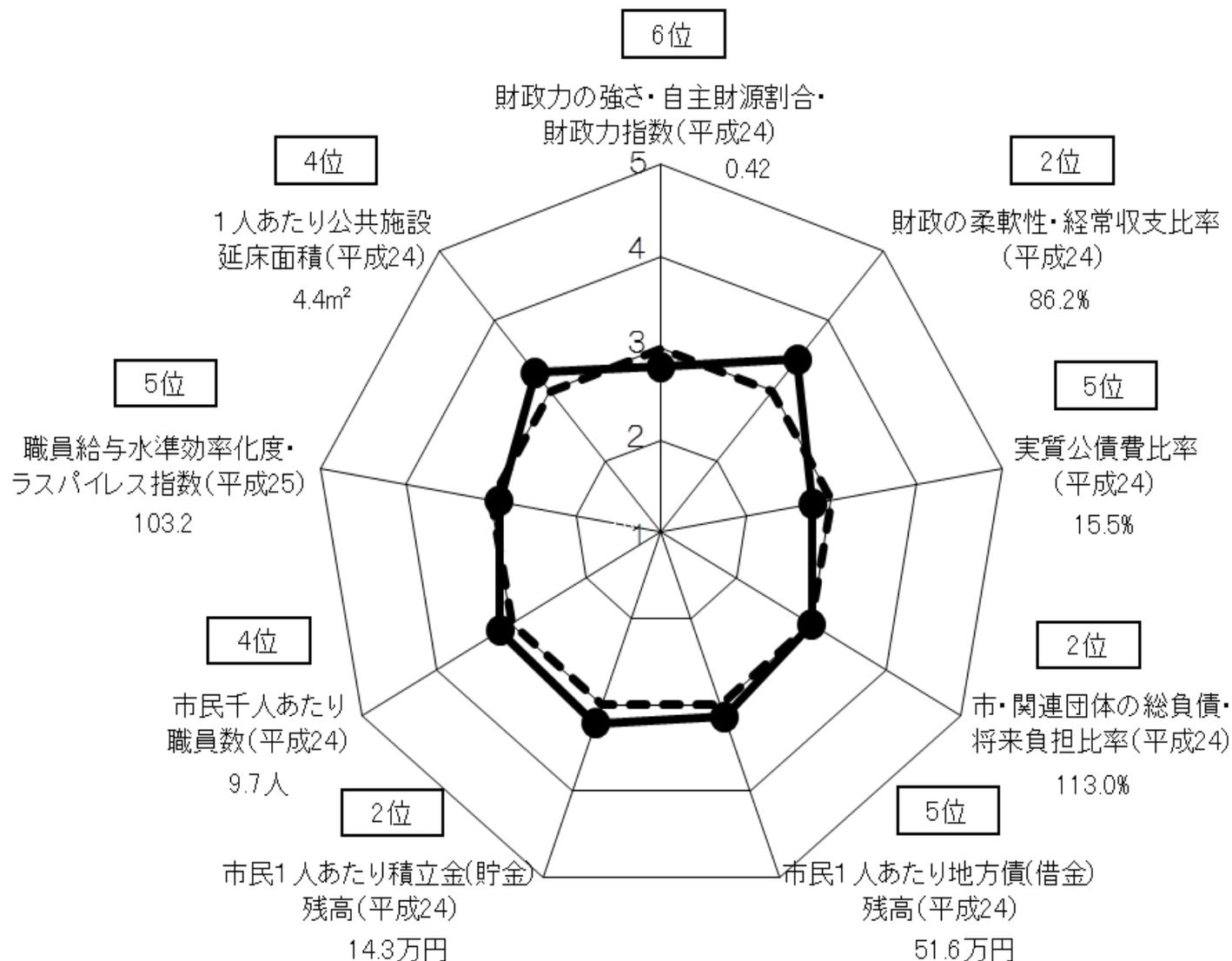


- ・「市民ひとりあたり図書貸し出し数」が、近隣8自治体で最下位となっています。  
（新潟市4.59冊 五泉市3.74冊 ……………胎内市2.04冊 阿賀野市1.64冊）
- ・「園児千人あたり幼稚園数」が多くなっていますが、定員充足率が低い場合は、効率化余地となります。



# 行政基盤

・「実質公債費比率」は、15%を超えているのは、阿賀野市、村上市、五泉市、胎内市、阿賀町。



# 全10分野での強み・弱み一覧

■「強み」が4.7%、「弱み」が3.1%で、圧倒的な強み弱みが少ないことが特徴です。

本市の状況	◎ 強い	○ やや強い	— 平均的	△ やや弱い	× 弱い	指標合計
偏差値区分	60以上	52.5以上	47.5～52.5	47.5以下	40以下	
人口・世帯	2	3	2	1	0	8
都市形成	0	2	4	2	0	8
経済基盤	0	1	4	3	0	8
にぎわい・交流	0	1	0	4	1	6
生活基盤	1	4	2	0	0	7
安全	0	2	0	0	1	3
健康・医療	0	2	0	3	0	5
福祉・社会保障	0	3	1	0	0	4
教育	0	1	2	3	0	6
行政基盤	0	5	2	2	0	9
10分野合計	3	24	17	18	2	64
	4.7%	37.5%	26.6%	28.1%	3.1%	

■区分の説明、近隣6市での偏差値より設定

強み(偏差値60.0以上)、やや強み(52.5～59.9)、やや弱み(47.5～40.1)、弱み(40.0以下)

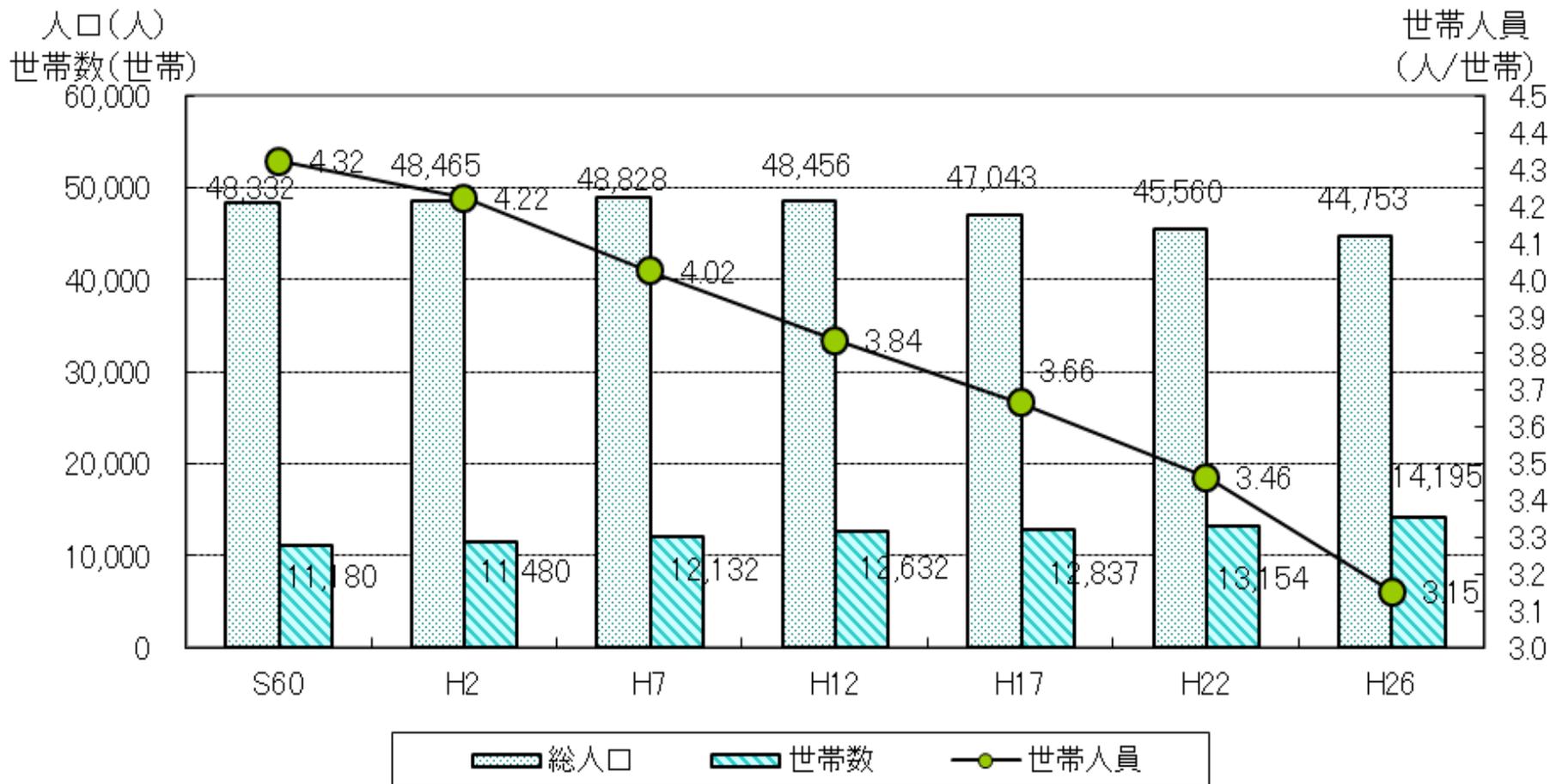


# 4. 人口動態

～阿賀野市の人口の動き～

## 人口・世帯の推移

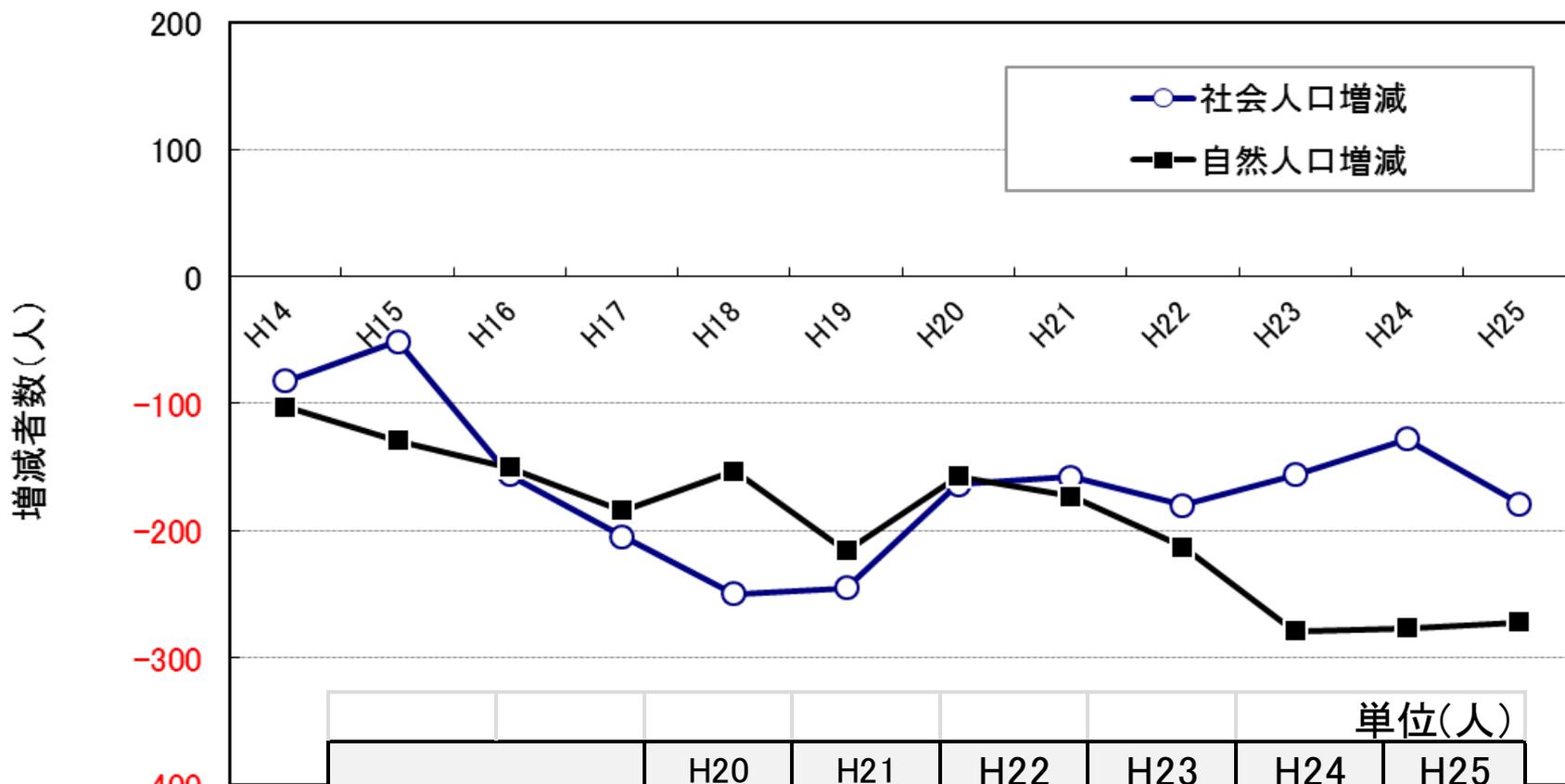
- ・人口は平成7年以降、削減傾向となり、約20年で4,075名で約1割減少となっています。
- ・世帯人員は、昭和60年の4.32人から、少子化・核家族化等で、平成26年には、3.15人と1名以上の減少となっています。



\* S60～H22までは国勢調査結果、H26は、住民基本台帳人口(H27.1.1現在)

# 人口増減の推移

- ・社会人口は、▲200名程度で推移しています。
- ・自然人口は、出生数が減少し、死亡数が増加傾向にあり、削減幅が大きくなっています。

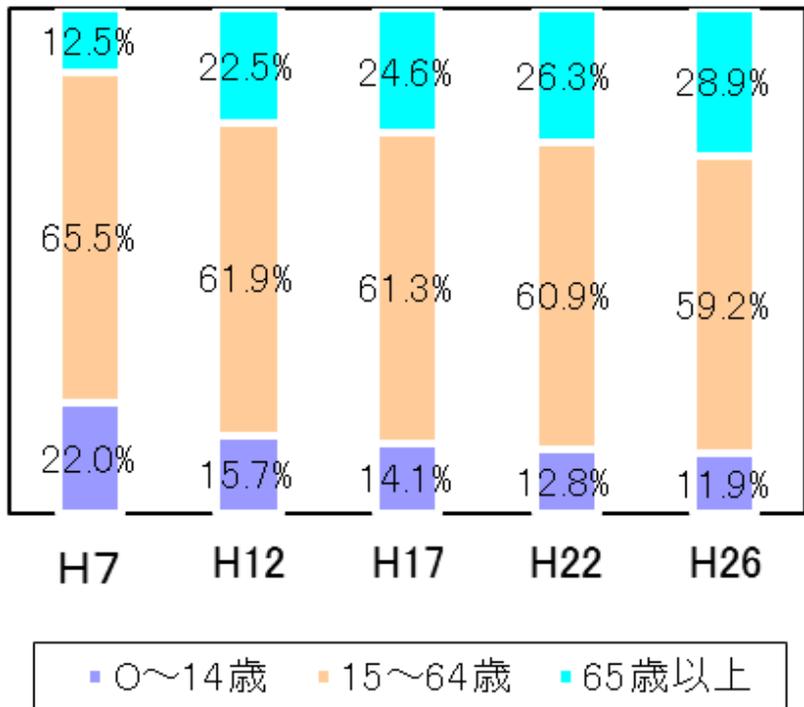


	単位(人)					
	H20	H21	H22	H23	H24	H25
転入	868	815	828	843	828	826
転出	1,032	973	1,008	999	956	1,005
出生	347	318	318	310	305	302
死亡	504	491	531	589	582	574
人口増減	-321	-331	-393	-435	-405	-451

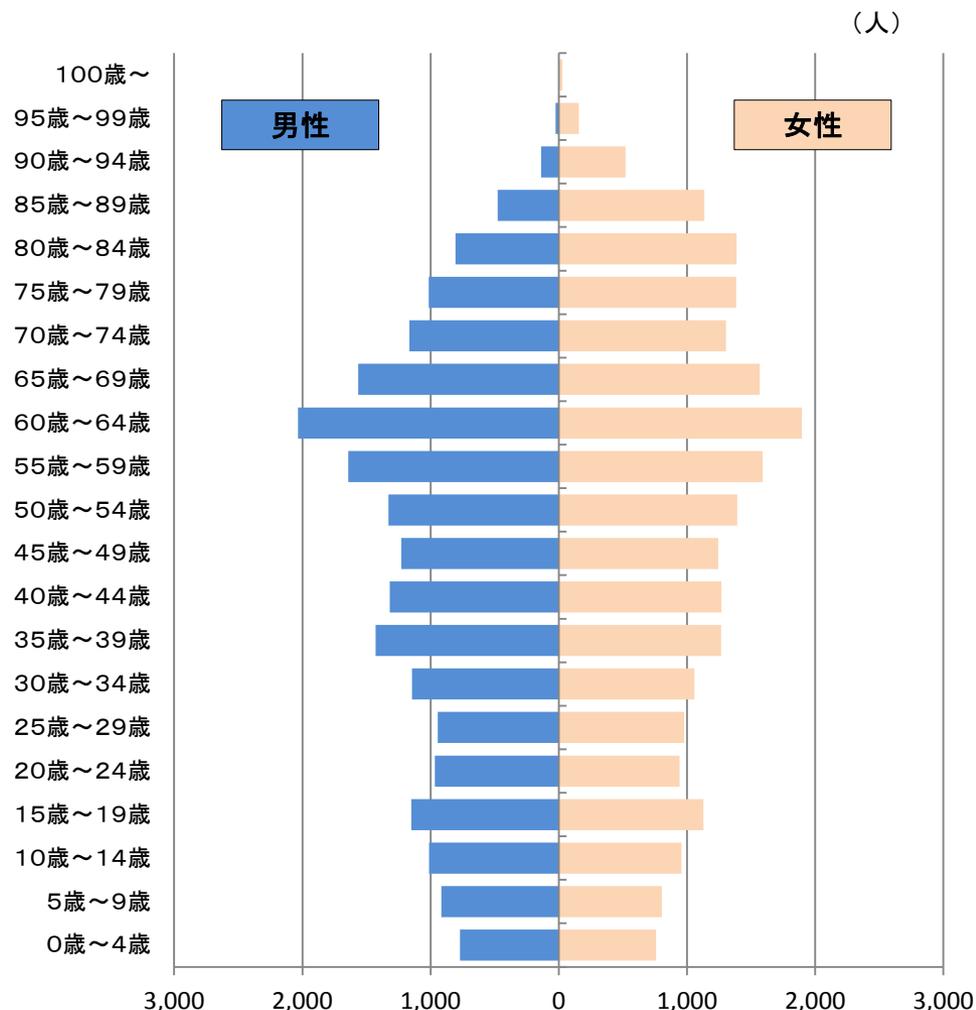
# 年齢構成

- ・65歳以上の高齢化率が、28.9%と約3割となっています。
- ・60歳～64歳、55歳～59歳、65歳～69歳の人口構成比が多くなっています。

■年齢階層別人口構成比



■人口ピラミッド(年齢階層別分布) 平成26年10月1日



## 転出入の 動向

- ・県内への転出入が、約6～7割となっています。
- ・県内移動において、転出入ともに、新潟市が6割近く、大きな割合を占めています。
- ・新潟市以外では、新発田市が転入転出とも1割を占めています。

## 転入

県内移動数	559 人	68.3%
県外移動数	260 人	31.7%

### ■阿賀野市への転入先県内自治体

	地 域	転入数	構成比	新潟市 比率
1位	東区	66	11.8%	56.5%
2位	新発田市	66	11.8%	
3位	江南区	61	10.9%	
4位	北区	55	9.8%	
5位	五泉市	51	9.1%	
6位	中央区	50	8.9%	
7位	秋葉区	47	8.4%	
8位	西区	37	6.6%	
9位	長岡市	23	4.1%	
10位	阿賀町	16	2.9%	

## 転出

県内移動数	633 人	63.4%
県外移動数	365 人	36.6%

### ■阿賀野市からの転出先県内自治体

	地 域	転出数	構成比	新潟市 比率
1位	東区	84	13.3%	57.2%
2位	中央区	75	11.8%	
3位	新発田市	69	10.9%	
4位	西区	68	10.7%	
5位	北区	56	8.8%	
6位	江南区	50	7.9%	
7位	秋葉区	48	7.6%	
8位	五泉市	43	6.8%	
9位	長岡市	26	4.1%	
10位	三条市	18	2.8%	

## 転出入の 動向

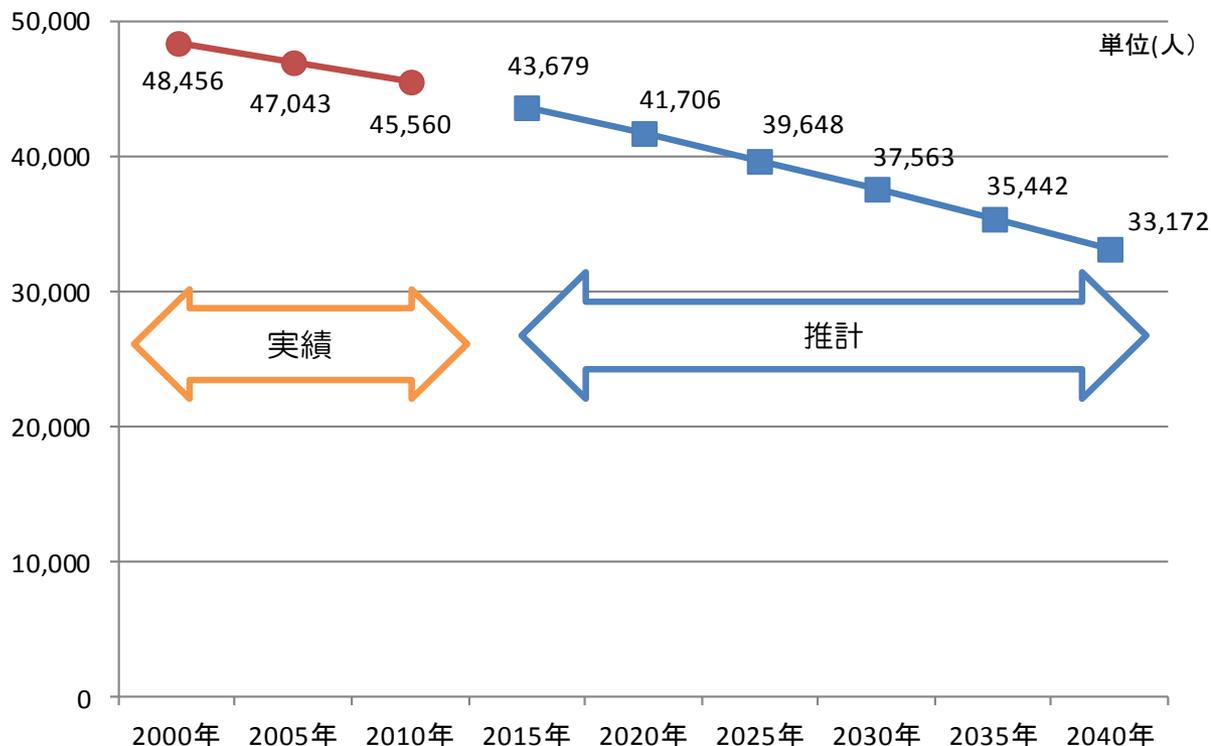
- ・県内の他自治体からの転入傾向  
→20～44歳までのファミリー層が多い。  
→住宅購入と結婚等での転入が多い。
- ・県内の他自治体への転出傾向  
→20～44歳までのファミリー層が多い。  
→他自治体への就職等、住宅購入と結婚等での転出となっています。

転入	県							内				
	計	0～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75～	
合計	559	96	15	74	110	75	92	36	24	12	25	
職業	88	0	3	21	25	12	17	6	4	0	0	
住宅	218	39	2	19	40	28	39	19	16	9	7	
学業	7	0	2	4	0	0	0	0	0	1	0	
家族	110	51	7	10	15	6	12	6	1	0	2	
戸籍	111	6	1	18	30	28	24	2	1	1	0	
その他	25	0	0	2	0	1	0	3	2	1	16	
転出	県							内				
	計	0～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～44	45～54	55～64	65～74	75～	
合計	633	81	28	99	147	96	89	39	21	14	19	
職業	134	0	9	41	32	22	20	6	2	2	0	
住宅	214	28	3	27	51	32	26	19	15	6	7	
学業	13	3	7	1	0	0	2	0	0	0	0	
家族	88	48	4	1	7	8	8	2	1	5	4	
戸籍	166	2	5	29	57	31	32	10	0	0	0	
その他	18	0	0	0	0	3	1	2	3	1	8	

## 人口推計

- ・人口の減少は続き、10年後の2025年には、3.9万人となり、現在より14%減少すると推測されています。
- ・他市への移動がない封鎖人口推計との比較では、封鎖人口は多い傾向があるため、転出の影響が大きくなると推察されます。

### ■阿賀野市の人口推計(出生中位・死亡中位推計)



### ■阿賀野市の人口推計(移動あり)及び人口推計(封鎖人口)

	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
人口推計(移動あり)	43,679	41,706	39,648	37,563	35,442	33,172
人口推計(封鎖人口)	44,240	42,687	41,004	39,270	37,493	35,548

出所: 国立社会保障・人口問題研究所(平成25年3月推計)



# 5. 財政動向

# 財政動向

- ・平成27年から、合併特例が断簡的に削減され、平成31年度までに、  
▲15～20億円の減収が確実にあり、事業規模の適正化が求められます。

●歳入経常一般財源と経常経費との差額の推移

【単位:百万円】

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
経常一般財源	11,923	12,299	12,757	13,501	13,426	13,423	13,385	13,558	13,397	12,993	12,589	12,085	11,682	11,475
経常経費	11,038	11,084	11,256	11,716	11,514	11,565	11,798	11,959	11,888	11,805	11,603	11,598	11,544	11,705
差 額	885	1,215	1,501	1,785	1,912	1,858	1,587	1,599	1,509	1,188	986	487	138	-230

